

## 別添資料

[国内における医療安全に関わるe-learningシステムの現状調査]

No.	名称 (会社名、団体名)	企業・団体概要	製品名	内容	URL	費用 (個人・維持管理)	購入時期 (年単位)	対応の個人 (年単位)	機能 (受講者数・機能)	価格 (受講者数・機能)	利用環境 (OS・ブラウザ)	利用形態 (ASP/クラウド)	インストール (インストール)	インストール時間 (インストール)	学習環境 (学習環境)	学習支援 (学習支援)	導入・運用・保守 (導入・運用・保守)	導入・運用・保守 (導入・運用・保守)
1	株式会社学習者のサポート	〒141-8614 東京都品川区五反田5-11-18 TEL: 03-5431-1238 (代電) FAX: 03-5431-1239 URL: 03-5431-1238 メールアドレス: info@learning-support.jp 請求先: 49,000,000円	学習者のサポート	医療安全管理研修提供	<a href="https://gakkan-medi.co.jp/index.html">https://gakkan-medi.co.jp/index.html</a>	毎月 32,400 円 (税込) 研修費 16,400 円 (税込)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
2	株式会社学習者のサポート	<概要> 研修内容: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	学習者のサポート	研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	<a href="https://gakkan-medi.co.jp/index.html">https://gakkan-medi.co.jp/index.html</a>	毎月 32,400 円 (税込) 研修費 16,400 円 (税込)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
3	株式会社エクスプレス	〒115-0054 東京都港区新橋2-10-10 TEL: 03-5425-7315 FAX: 03-5425-7316 URL: 03-5425-7315 メールアドレス: info@express.co.jp 請求先: 7,230,000 円	エクスプレス	医療安全管理研修提供	<a href="https://www.express.co.jp/">https://www.express.co.jp/</a>	研修費 4,000 円 (税別) / 1名 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 4,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
4	エスエスエス株式会社	〒106-0044 東京都港区赤坂1-9-11 TEL: 03-6440-1111 FAX: 03-6440-1112 URL: 03-6440-1111 メールアドレス: info@esss.jp 請求先: 6,000,000 円	エスエスエス	医療安全管理研修提供	<a href="https://www.esss.jp/">https://www.esss.jp/</a>	研修費 4,000 円 (税別) / 1名 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 4,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
5	エスエスエス株式会社	<概要> 研修内容: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	エスエスエス	研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	<a href="https://www.esss.jp/">https://www.esss.jp/</a>	研修費 4,000 円 (税別) / 1名 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 4,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
6	株式会社アール	〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-2 TEL: 03-5640-5000 (代) FAX: 03-5640-5000 URL: 03-5640-5000 メールアドレス: info@ar.jp 請求先: 4,000,000 円	アール	医療安全管理研修提供	<a href="https://www.ar.jp/">https://www.ar.jp/</a>	研修費 4,000 円 (税別) / 1名 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 4,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
7	アール	<概要> 研修内容: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	アール	研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	<a href="https://www.ar.jp/">https://www.ar.jp/</a>	研修費 4,000 円 (税別) / 1名 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 4,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)
8	株式会社デジタル・ラボ	〒110-0005 東京都港区東芝1-5-3 TEL: 03-5466-2132 FAX: 03-5466-2132 URL: 03-5466-2132 メールアドレス: info@digital-lab.jp 請求先: 40,000,000 円	デジタル・ラボ	医療安全管理研修提供	<a href="https://www.digital-lab.jp/">https://www.digital-lab.jp/</a>	研修費 4,000 円 (税別) / 1名 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 4,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり) 研修費 8,000 円 (税別) / 1名 受講者数 1000 名まで (1名あたり)	研修で申し込める 翌日から	個人単位	研修 (受講者数・機能) 受講者数: 1000 機能: 研修内容の配信、学習履歴の管理、レポートの作成 (印刷、高機能)	月額 21000 円 (6000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで) 研修 + オンライン講義 24 時間 (1000 名まで)	PC, スマートフォン, タブレット	クラウド (ASP) 型	インストール	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)	学習者の研修 (研修)





10	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策課	〒115-8545 東京都板橋区山手1-21-1 TEL: 03-5202-2141 日本の感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	一般感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
11	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策課	〒103-0041 東京都千代田区千代田 TEL: 03-5217-2320 (代) FAX: 03-5217-2327 (代) 国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
12	日本財団 国際感染症対策課	〒100-0001 東京都千代田区千代田 TEL: 03-5778-7091 国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
13	山形県産業振興協会	〒402-8580 山形県鶴岡市日向日町 TEL: 0554-46-6630 FAX: 0554-46-6630 山形県産業振興協会の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	山形県産業振興協会の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	山形県産業振興協会の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
14	一般社団法人 日本国際感染症対策協会	〒261-8585 東京都板橋区山手1-21-1 TEL: 03-5202-2141 (代) FAX: 03-5202-2141 (代) 国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策協会	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策協会	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策協会	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
15	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策課	〒115-8545 東京都板橋区山手1-21-1 TEL: 03-5202-2141 (代) FAX: 03-5202-2141 (代) 国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
16	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策課	〒115-8545 東京都板橋区山手1-21-1 TEL: 03-5202-2141 (代) FAX: 03-5202-2141 (代) 国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											
17	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策課	〒115-8545 東京都板橋区山手1-21-1 TEL: 03-5202-2141 (代) FAX: 03-5202-2141 (代) 国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	<a href="http://www.iaicr.nih.go.jp/">http://www.iaicr.nih.go.jp/</a>	職員 職員 職員	国際感染症対策の国際的対応策の推進 国際感染症対策課	PC	ウェブ(ASP)型 ホームページ											

No.	名称 (会社名、団体名)	住所(〒、都道府県)	URL	内容	種別名	費用 (個人、維持費)	申込時期 (学期)	申込の個人 数	申込の制限 (年齢、性別、専攻、学年、専攻の限定、奨励金、他校からの推薦、立派)	利用機器 (PC、タブレット、スマートフォン)	科目形態 (対面、ASP、混合)	オンライン プラットフォーム (Zoom、LMS)	学習の目的 (知識の習得、スキルの向上、資格取得)	学習環境 (自宅、学校、図書館)	申込の団体
1	一般社団法人 日本経済教育会	〒606-8305 東京都港区赤坂1丁目10番10号 TEL: 075-751-7130 FAX: 075-761-9724 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	CANVAS LMS、LANSING 株式会社 専門学校・大学2019年度の学習 指導者・指導員	オンライン e-learning	個人費用 2,000円 維持費 2,000円 入会費 15,000円 年会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
2	一般社団法人 日本経済教育会	〒100-0011 東京都千代田区外神田1-1-1 TEL: 03-5501-2855 FAX: 03-5501-2855 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 18,100円 維持費 18,100円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
3	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
4	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
5	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
6	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
7	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
8	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
9	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
10	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会
1	一般社団法人 日本経済教育会	〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 TEL: 03-3814-7921 FAX: 03-3814-4117 E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp E-mail: office@jkepa.or.jp	http://www.jkepa.or.jp	日本経済教育会 e-learning	オンライン e-learning	個人費用 15,000円 維持費 15,000円 入会費 8,000円	ユーザID発行 時期	入会者数 1人	年齢制限なし 性別制限なし	PC	対面、ASP	Zoom、LMS	知識の習得、スキルの向上	自宅	一般社団法人 日本経済教育会



**システム名：[学研メディカルサポート]**

**提供機関名：[株式会社学研メディカルサポート]**

[システム概要]

株式会社学研メディカルサポートは、看護師向け e-ラーニング『学研ナーシングサポート』を軸に医療・看護・介護分野へ教育コンテンツを配信する事業を展開している。同事業所では、各都道府県看護協会が主催する e-ラーニング活用型「医療安全管理者養成研修」をバックアップする製品「学研メディカルサポート」を提供している。学習システムは、クラウド(ASP 型)で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。なお、スマートフォンまたはタブレット端末からアクセスする際には、使用する端末のオペレーティングシステム(OS)の種類に応じた専用アプリケーションをインストールする必要がある。また、最短で申し込みの翌月から受講を開始することができ、Web 上にログインの方法を示した動画が配信されているため、比較的、容易に受講を開始することができる。

提供される学習コンテンツは、講義を収録した映像教材が中心となっている。映像教材は、計 24 時間分が提供されており、その他にテスト形式の教材(およそ 9 時間分)が提供されている。なお、本学習システムは、北海道・青森県・岩手県・群馬県・新潟県・大阪府・奈良県・岡山県の各看護協会が主催する「医療安全管理者養成研修」ですでに導入されている。そのため、e-ラーニングでの学習の他に、2 日間 16 時間分の集合研修を受講するブレンディッドラーニングの形式がとられている。

受講料は、集合研修の費用も含め、上記の各看護協会会員は 32,400 円(税込)、非会員は 64,800 円(税込)となっている。



# システム名：[学研ナーシングサポート]

## 提供機関名：[株式会社学研メディカルサポート]

### [システム概要]

株式会社学研メディカルサポートは、看護師向け e-ラーニング『学研ナーシングサポート』を軸に医療・看護・介護分野へ教育コンテンツを配信する事業を展開している。『学研ナーシングサポート』は「カリキュラム作りが大変」「研修に費用がかけられない」「研修を開催しても人が集まらない」など、多くの病院が抱える看護師の院内研修における課題解決を提案するべく、2011年10月に配信が開始された。看護部全体で利用してもらうために経験年数に応じた3つのコースを設定し、PCに不慣れな人でも使いやすいインターフェイスの採用、教育担当者の負担を軽減のための集合研修用のツールの準備など、現場のニーズを取り入れつつ、2014年時点で約600の病院が導入している。

当製品は「効果が上がる」「負担が軽減」「操作が簡単」「費用が安い」という4つのコンセプトが掲げられている。基礎習得コース（新人看護職員研修ガイドラインに基づく）・中堅コースあるいは精神科コース・看護管理コース・リーダー育成コースという4つの基本コースの設定に加え、看護補助者研修コース・看護研究コース・院内全体研修コース（医療安全・感染対策など）や看護管理者特別コース、退院支援・地域包括ケアコース（いずれもオプション）など、対象者別コースも豊富に用意している。幅広いラインナップと各テーマの対象者・到達目標が明確なため院内研修に取り組みやすく、定期的かつ系統的な研修が実施できる。また、院内研修を充実させる講義資料、評価ツールとなるテスト、アンケートは配信期間中パソコンにダウンロードし、いつでも院内の活動に利用できる。講義資料は印刷レイアウトを自由に設定できるものも配布されている。進捗管理を行う管理者も、パソコンで簡単に履歴の閲覧や一覧表のダウンロードを行なえる。

学習システムは、クラウド(ASP型)で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからでも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。なお、スマートフォンまたはタブレット端末からアクセスする際には、使用する端末のオペレーティングシステム(OS)の種類に応じた専用アプリケーションをインストールする必要がある。また、最短で申し込みの翌月から受講を開始することができ、Web上にログインの方法を示した動画が配信されているため、比較的、容易に受講を開始することができる。

提供される学習コンテンツは、講義を収録した映像教材が中心となっている。第一線で活躍する全国の講師陣による講義を視聴でき、各講義は15～60分のコンパクトな時間設定のため院内研修でも使いやすい。各講義にワークシートや講義資料、テスト・解答解説、修了証など自由に使える資料がつく。また、視聴状況“見える化”オプションで利用状況のアフターフォローも行っている。さらに、学習履歴は自動保存され、後日確認できる。テストは何度でも受講可能で、出題順は毎回シャッフルされる。その結果も確認可能なため振り返りに役立てることができる。採点結果や解説はもちろん、自分の点数と全国平均の比較グラフも表示されるので、学習のモチベーションアップにつながる。そして進捗管理を行う管理者も、パソコンで簡単に履歴の閲覧や一覧表のダウンロードを行なえるため、研修の活性化と運営負荷軽減に役立てることができる。

受講料は、「基本パッケージ（一般）」あるいは「基本パッケージ（精神科）」の場合、病床数～199床 39,800円/月、200～399床 49,800円/月、400～599床 59,800円/月、600床以上 69,800円/月となっている。オプション受講費用は看護管理者特別コースⅠ、看護管理者特別コースⅡ、退院支援・地域包括ケアコース、学研介護サポートが120,000円/年度であり、ビジュアルナーシングメソッドが20,000円/月、精神科コー

スが 10,000 円／月，視聴状況”見える化”オプション（年 2 回）が 10,000 円／年度となっている。ビジュアルナーシングメソッドを基本パッケージの申し込みをせず単体で利用する場合は 40,000 円／月（税別）となり，精神科コースは「基本パッケージ（一般）」の申し込みが必要となる。申し込みは利用開始月から 3 月末までで，年度途中からの申し込みも可能である。

# システム名：[医療安全管理者養成研修/医療関連感染予防対策/ 医療関連感染サーベイランス/院内救急システム RRS]

提供機関名：[株式会社キューラメディクス]

## [システム概要]

株式会社キューラメディクスは、eラーニングコンテンツの配信媒体として、患者・家族・医療従事者の教育環境をサポートしている。主に患者安全・医療関連感染・院内救急システム RRS の三つのプログラムを用意しており、各分野を代表する講師陣によって豊富なコンテンツが構成されている。学習システムはクラウド(ASP 型)で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。また、インターネットの申込フォームから申し込み、受講料納入が確認されると受講に必要な URL・ID・パスワードが発行され、受講を開始できる。

患者安全では「医療安全管理者養成研修」を行っており、平成 19 年 3 月厚労省発表の医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針に基づき医療安全対策加算に準拠している。また、毎年コンテンツを更新し、常に時宜を得たテーマを提供しており、提供される学習コンテンツは、講義を収録した映像教材が中心となっている。

医療関連感染には、「医療関連感染予防対策」と「医療関連感染サーベイランス」の二つがある。「医療関連感染予防対策」は、感染予防対策を適切に実践する上で必要となる病院スタッフ全員による感染予防の基礎知識の共有を目的としている。事務系をはじめ清掃等外注先のスタッフ全員が感染予防の基礎知識を学習できるように、基礎編（2 時間 40 分コース）を用意し、費用負担の軽減も大幅に図っている。提供される教材は映像による講義である。受講者は、受講前と受講後に「事前テスト・事後テスト」を受け、その結果はグラフで図示される。知識獲得状況を分析の上、コメントとともにフィードバックしている。医療施設で申し込む場合、受講料は講義メニュー基本編（1）～（4）で 4,000 円（税別）/1 名、講義メニュー総合編（1）～（8）で 8,000 円（税別）/1 名となっている。学習期間は 1 年毎更新で、受講履歴管理・質問・サーバー代費用として月に 25,000 円（税別）かかる。また、受講を修了すると修了バッジが交付される。個人で申し込む場合、講義メニューは総合編のみとなり 9,800 円（税別）/1 名、学習期間は 6 ヶ月である。こちらも修了バッジが交付される。

「医療関連感染サーベイランス」では、統計学の基礎を学びながら、サーベイランス解析に使える Excel の機能を、実際のデータを駆使しながら習得したり、医療関連感染サーベイランスのデータを日々の感染管理で活かすために必要な知識や技術を学んだりできる。講義は映像によって視聴でき、第一部から第三部まで用意されている。受講料は第一部が 5,000 円（税別）/1 名、第二部が 7,000 円（税別）/1 名、第三部が 8,000 円（税別）/1 名であり、三講座セットで申し込む場合は 18,000 円（税別）/1 名となる。なお、学習期間は各部毎 3 ヶ月である。

「院内救急システム RRS」では医療安全を変えるシステムである RRS について動画による講義で解説を行っている。受講料は 5,000 円（税別）/1 人、学習期間は 6 ヶ月であり、修了証が交付される。

**システム名：[SafetyPlus（セーフティプラス）]**

**提供機関名：[エルゼビア・ジャパン株式会社]**

[システム概要]

エルゼビア・ジャパン株式会社は、実際に起きた医療事故を動画で疑似体験することで学ぶ医療安全 e ラーニングツール『SafetyPlus』を発売している。インシデントの再現動画を視聴して個々の気づきを促し、院内の医療安全対策マニュアルの再確認まで落とし込む画期的な学習ツールである。医療事故を多職種連携のしくみで防ぐことを目的としており、上尾中央総合病院院長補佐の長谷川医師が監修している。第 13 回日本 e ラーニング大賞ヘルスケア経営特別部門賞を受賞している。学習システムは、クラウド(ASP 型)で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。

提供される学習コンテンツは医療事故の再現動画が主で、なぜ事故が起きたのかディスカッションを踏まえて振り返ると、画面に学習のポイント、詳細な解説、事故防止の提案、参照資料のリンクが表示される。その後テストで理解度を確認し、自施設を想定した話し合いや発生時の対応の確認を経てコースが終了、受講証明書が発行される。1 事例の学習時間は約 15 分で、発生時の対応はカスタマイズして院内ルールの周知に役立てることができる。管理者の負担も考慮されており、資料追加機能による施設独自のマニュアルの反映や、病院オリジナルの動画アップロード、テスト・解説の作成で研修や自己学習に利用できる。また、レポート機能の利用により受講履歴の確認や出席者レポートの作成、未完了者への一括リマインドができる。加えて、管理者のための「ファシリテート・マニュアル」が用意されており、集合研修を想定して研修の上手なファシリテートの仕方が書かれたマニュアル付きで、15 分コースと 60 分コースがある。加えて、紙ベースでの出欠確認や、受講者からの不明点・感想などを収集する際に最適な「受講者用メモ」もついている。

# システム名：[ナーシング・スキル日本版]

## 提供機関名：[エルゼビア・ジャパン株式会社]

### [システム概要]

ナーシング・スキル日本版は、看護技術を動画と E-ラーニングで確認・習得するオンラインツールである。看護技術の手順・動画・根拠に、講義動画シリーズ（オプション）を加えることで、新人看護師から中堅看護師、管理職まで、充実した研修を効率よく実施することができる。学習システムは、クラウド(ASP 型)で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。コンテンツは PDF にすることも可能なのでインターネットがない環境でも閲覧できる。価格については病院の場合は許可病床数、学校の場合は看護学生人数に応じて決定する。詳しくは問い合わせフォームまたは電話による問い合わせが必要。利用には ID・パスワードが必要となるが、発行数は無制限で、施設に所属している者であれば誰でも取得できる。導入時のサポートとして訪問サポートが利用でき、初回は製品説明会、製品使い方トレーニング等が無料で受けられる。

一つの看護技術には手順、図解、映像、チェックリスト、テスト、基本事項が含まれている。一つ一つの手順の根拠や注意点も記載された詳細な手順を確認でき、解剖図などの図解や表も掲載されている。「患者確認から記録まで」一連のプロセスを 5 分～10 分程度の動画で解説しており、動画は手順の詳細を描写したアニメーションタイプ、日本では撮影が難しい貴重な米国製の動画を翻訳・日本化した実写タイプ、またフィジカルアセスメントなど日本独自で制作した実写タイプの 3 種類が用意されている。2018 年 2 月現在 273 の動画が閲覧できる。チェックリストは看護技術の各手順を「1-できる」「2-指導の下でできる」「3-演習でできる」「4-知識としてわかる」の 4 段階で評価でき、プリントアウトをして自己・他者評価に利用できるほか、結果を集計してエクセルで出力することも可能である。また、テストの受講結果は記録され、後日学習履歴を振り返り復習に役立てることができる。管理者は利用者に課題を出すことができ、受講者全員の結果を参照したり、エクセルに出力して管理したりできる。また、独自の問題を作成することも可能である。基本事項には、手技の目的、適応、禁忌、トラブル・異常時の対応や参考文献・参考サイトなど手技に関連する基本情報が記載されている。

既存のコンテンツはすべて編集することができる。ワープロ感覚で書き換えられるほか、画像や映像のアップロードも可能。また、新規コンテンツの作成も可能で、動画や手順、テスト、チェックリストなどをすべてオリジナルで作成することができる。

管理機能には課題管理、チェックリスト評価、アクセスレポートがある。テストやチェックリストを課題として出すことができ、期限の設定もできる。課題の進捗状況・学習状況をいつでも確認でき、テスト結果やチェックリストの評価結果をエクセルファイルに出力することも可能である。すべての手技にチェックリストがついており、プリントアウトができるだけでなく、エクセルで出力することもできるため、集計して弱点分析などにも活用できる。手技ごとの、また個人ごとのアクセスレポートもエクセルファイルに出力可能。

病院における活用では、看護手順の更新・マニュアル整備の稼働を削減、効果的な新人看護師教育を実現、時間・場所・場面を選ばず活用可能というメリットがある。コンテンツは定期的にアップデートされるため、看護手順更新の稼働を削減する。また、コンテンツを編集・追加することが可能なため手順以外のマニュアル類を一元管理できる。さらに、管理者はチェックリストやテスト機能を使って個々のレベルを効率的に管理できる。スマートフォンやタブレットからもアクセス可能なので、看護補助者教育など院内多職種で利用

でき、復職支援、医療安全、感染対策の学習ツールとしても利用できる。

学校における活用では、看護技術を根拠と資格で学習可能、学内演習・臨床実習を強力にサポート、時代に合った学習・教育環境を提案というメリットがある。根拠や注意点も詳細に記載された手順と動画を用いて、確かな自己学習を実現。事前に動画で確認することで、手技のイメージをもって演習や実習に臨むことができる。実習病院の指導者と手順・チェックリストを共有することで、指導・評価基準を一致させることも可能。インターネットがつながれば施設外でもアクセスでき、教員は学生の学習状況やテスト結果を簡単に確認・管理ができる。

**システム名：[アイリック e ラーニング]**

**提供機関名：[株式会社アイリック]**

[システム概要]

株式会社アイリックは、医療機関・介護施設向けに研修をサポートする e ラーニングシステムを提供している。アイリックの e ラーニングシステムでは、ISO9001 シリーズ・医療安全シリーズ・院内感染対策シリーズ・個人情報保護シリーズの他、自院オリジナルの研修教材を学習することが出来る。学習システムはクラウド(ASP)型で提供されていて、パソコンからのみ学習コンテンツにアクセスすることが可能である。また、インターネットのお問い合わせフォームもしくは指定の連絡先から申し込み、ID とパスワードが発行されたと同時に受講が開始する。学習教材は、短期間(3 か月)から 1 か月単位で利用できる。

ISO9001 シリーズは「ISO9001 の基礎コース」、「ISO9001 内部監査コース」、「目標・活動計画作成コース」の 3 つがある。3 つのコースの対象者は ISO9001 認証取得の医療機関・介護施設の職員の皆様、または現在取得活動及び今後取得予定の医療機関・介護施設の職員である。

医療安全シリーズは「医療安全の基礎知識」、「医療事故と法的責任」、「医療・介護現場におけるノンテクニカルスキル基礎コース」、「医療・介護現場におけるコミュニケーションエラー」の 4 つがある。4 つのコースの対象者は医療機関に勤務する全ての職員である。

院内感染対策シリーズは「院内感染対策の基本的な考え方」、「標準予防策と感染経路別予防策」、「職業感染管理」、「院内感染対策サーベイランス」、「適切な消毒と環境管理」の 5 つのコースがある。5 つのコースの対象は医療機関に勤務する全ての職員向けで「全員教育」「継続教育」に最適である。

個人情報保護コースは医療機関・介護施設・病院に勤務する全ての職員を対象としている。個人情報保護法、厚生労働省のガイドラインを分かりやすく解説し、医療機関・介護施設における個人情報取り扱いのポイントを学習することができる。

オリジナル教材制作では、アイリックのサポートの元、管理者用の画面から自院のオリジナルの学習教材の登録やテストの作成を簡単に行うことができる。学習教材は、既存のパワーポイントの教材やビデオ撮影した動画、フラッシュで作成した動画教材などがそのまま登録することができる。

利用費用は利用人数に応じて設定されるシステム利用基本費用と利用人数に関わらず教材タイトルごとに設定されている教材利用費用の合計である。また、アイリック e ラーニングには医療・介護現場にマッチした無駄のないシステムとして教材閲覧・テスト実施機能の学習者機能と会員登録管理、学習教材・テスト管理、学習履歴管理機能の管理者機能がある。

## システム名：[CandY Link] 提供機関名：[メディカ出版]

### [システム概要]

メディカ出版の CandY Link は看護部の方を人材育成面でサポートする病院施設を対象とした個別学習 e ラーニングであり、第 13 回日本 e-Learning 大賞、看護教育特別部門賞を受賞している。CandY Link は「臨床ベーシックコース」、「リーダー・マネジャー実践コース」、「臨床アドバンスコース」、「月イチゼミ」の 4 つのコースがあり、「臨床シナリオ」「ポイント解説」「手技ムービー」の 3 つの学び方で構成されている。学習システムはクラウド(ASP)型で提供されていて、パソコンやスマートフォン、タブレットから学習コンテンツにアクセスすることができる。個人ではなく施設ごとの申し込みになっている。開始 1 か月前までに申し込み、その後初回発行分 ID と請求書を受け取り、入金を確認できた後、すべてのアカウント・ID が発行され、希望開始月の 1 日から受講を開始することができる。また、契約期間は利用開始日より 1 年単位で開始月は選択可能である。なお、契約期間中に解約することは出来ない。

臨床ベーシックコースは日本看護協会クリニカルラダー I・II レベルである。「厚生労働省 新人看護職員研修ガイドライン改訂版」をベースに、より臨床らしさを反映させたラインナップになっていて、新人から実地指導者、中堅ナースまで、基本をおさえ学び直しにも最適である。学習後、実際に現場での行動が改善されたか、学習者・先輩が確認できるツールも備わっている。

リーダー・マネジャー実践コースは 2018 年 4 月にリリース予定であり、日本看護協会クリニカルラダー II～IV レベル、認定看護管理研修ファースト・セカンドレベルである。次世代リーダーから管理者まで、今日から実践できるチーム作り・リーダーシップ・人材教育の必須スキルを体系的に網羅している。さらに、管理の事務や社会医療制度・アカデミックスキルも学ぶことができ、一步先を行くリーダーの基礎力向上に最適である。チームの規模に関わらず、リーダー業務に携わる全ナースに継続教育の機会を提供している。また、「実践」と「理論」を往復した学習方法により、よりよい看護実践を支えるための必要な力が身につく。

臨床アドバンスコースは 2019 年 4 月にリリース予定であり、日本看護協会クリニカルラダー II～IV レベルである。看護の現場として、また診療報酬上も重要な高齢者・慢性疾患患者の看護を中心に、6 つのカテゴリで若手から中堅以上のナースの臨床看護における学習を深めることが可能である。新人を脱したナースに改めて認識してほしい「患者中心の視点」「症状ベースの解説」を切り口に、講義動画を交えてわかりやすく解説していて、患者の全人的な理解に基づいた看護が展開できるナースを養成することができる。

月イチゼミはナースだけではなく他職種も知っておきたいトピックス・最新情報・知識を毎月定期的に更新していて、第一線で活躍中の講師が分かりやすく解説してくれる。

費用は施設の病床数ごとの設定となっている。



**システム名：[メディ蔵]**

**提供機関名：[株式会社デジタル・ナレッジ]**

[システム概要]

『メディ蔵』は院内研修管理システム(LMS)と医療従事者必見の研修動画が見ることができる病院向けの専用サービスである。『メディ蔵』に使用されている統合型ラーニングマネジメントシステム「Knowledge Deliver」は、学習管理に必要な機能(教材作成から配信, 受講管理など)がすべて統合されており, さらに病院・医療機関のニーズに合った研修全体を管理する機能も実装されている。特長としては, 全ての研修履歴を一元管理でき, 他のシステムや外部で受講した学習履歴を CSV で取り込み 1 つの e ラーニングシステムで管理することが可能である履歴の一括管理や申し込みから承認, 出欠まで通して確認できる集合研修機能がある。また, 管理者だけではなく, 受講者自身でこれまでの研修が検索でき, 結果出力が付いた個人毎の受講履歴や一度修了したコースでも好きな時に振り返りができる復習機能もついている。学習システムはパッケージ型のオンプレミスであり, 中・小規模病院向けにクラウド(ASP)型のサービスもある。パソコンやスマートフォン, タブレットから User ID と Password を打ち込むと, 学習コンテンツにアクセスすることができる。

コンテンツラインナップとしては, 看護スキルシリーズ 18 項目, 看護スキルアップシリーズ 5 項目, その他 2 項目がある。費用はスタッフの人数ではなく, 病床数で決まる病院向け専用の料金と企業や学校など病院以外の医療系団体に適用される医療系企業, 学校向けの料金がある。病院向け専用の料金はスタッフが何人いても, 10~50 床まで最大 25,000 円/月, 51~100 床まで最大 40,000 円/月, 101~200 床まで最大 60,000 円/月, 201~300 床まで最大 75,000 円/月, 301 床以上は別途の案内となる。医療系企業, 学校向けの料金は基本 ID が 50ID 利用で 350,000 円/年, 追加 1ID 毎に 535 円/月, 100ID 利用で 540,000 円/年, 追加 1ID 毎に 435 円/月, 200ID 利用で 860,000 円/年, 追加 1ID 毎に 385 円/月, 300ID 利用で 1,170,000 円/年, 追加 1ID 毎に 345 円/月, 301ID 以上は別途の案内となり, 追加 1ID が最大 145 円/月となる。上記の料金は全て税別である。追加 ID については, その月にログインをした総人数をカウントし, その月の利用人数が, 基本 ID 費用を下回ったとしても必要となる。さらに, 便利なオプションメニューとして部署の登録代行とユーザーの登録代行, 初月運用レポートといった初期登録代行サービス 90,000 円(税別)や権限設定と操作研修, コース設計といった運用設計サービス 120,000 円(税別)がある。

## システム名：[Med-Sophia]

### 提供機関名：[ホスピタルパートナーズ株式会社]

#### [システム概要]

Med-Sophia は看護師の技術や知識の習得をサポートすることを目的としている。レッスンに視聴期間や数に制限がないため、量・質ともに豊富な内容から個人に合った学習メニューを選んで作成することができる。また、学習者と教育担当者をつなぐコミュニケーションとして個人メール機能があり、研修終了後の質問の受けつけ等に活用でき、幅広い学習フォローアップを手軽に行うことが可能である。同時に、個人メールのネットワークは緊急連絡網として災害対策用にも運用可能である。レッスンの視聴状況・確認クイズ（テスト）の点数等は Med-Sophia から定期的にレポートされ、全スタッフの学習成果の数値化管理を低コストで行うことができる。学習システムはクラウド（ASP）型で提供され、パソコン、スマートフォン、タブレットから学習コンテンツにアクセスすることができる。また、インターネットまたは各施設に送付された参加申込書で申し込みをし、要望数（施設規模に応じていれば受講者数に制限はない）の ID とパスワードを入手した直後から受講することができる。受講は 1 か月単位で自動更新され、解約をする際は解約月の 1 か月前までに書面で連絡する必要がある。

カリキュラムは特別講座、一般カリキュラム、看護管理プレミアムコース、看護補助職員（看護助手）に対する教育用教材があり、毎月 5～10 の新しいレッスンが追加される。費用は個人での申し込みでは、3 か月の利用で一般カリキュラム 6,300 円、プレミアムコース 9,500 円、6 か月の利用で一般カリキュラム 12,500 円、プレミアムコース 18,000 円、1 年の利用で 24,000 円、プレミアムコース 35,000 円となる。プレミアムコースを選択した場合、一般カリキュラムも受講可能である。病院・施設での申し込みでは、50 床未満で 2,000 円×人数、50～99 床で 40,000 円、100～199 床で 50,000 円、200～299 床で 60,000 円、300～399 床で 70,000 円、400～599 床で 80,000 円、600 床以上で 100,000 円となる。50 床以上の医療施設は看護職員全員に ID、パスワードが発行される。個人での申し込みの場合は発生しないが、その他、初回申し込みの時に、施設設定費用として 1 施設当たり 12,000 円(一時金)が発生する。また、プレミアムコンテンツ（認定看護管理者教育課程対応コンテンツ）を受講する場合は、1IDにつき、月額 1,000 円（消費税別）が必要である。

**システム名：[メディカルナレッジ®]**

**提供機関名：[特定非営利活動法人 医療教育研究所]**

[システム概要]

メディカルナレッジ®は薬剤師の方を対象とした e-ラーニングである。「かかりつけ薬剤師」要件の一つである「研修認定薬剤師」の申請に必要な単位や（公財）日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師に必要な単位の取得が可能である。「緩和医療薬学」の分野の講座は「緩和薬物療法認定薬剤師」認定試験受験資格取得のための対象講座として認められている。また、日本薬局学会「認知症研修認定薬剤師」認定試験の受験資格取得対象講座として指定されている。さらに、日本薬剤師会の生涯学習支援システムである「JPALS」のポートフォリオに活用することができる。受講コースは、通常の講座がすべて受講できる全講座コース（無制限コース）、通常講座の中から好きな 120 講座を選択し、受講できる 120 講座コース（レギュラーコース）、60 講座を選択し受講できる 60 講座コース（ライトコース）、30 講座を選択し受講できる 30 講座コース（新設コース）の 4 つがある。学習システムはクラウド（ASP）型で提供され、パソコン、スマートフォン、タブレットから学習コンテンツにアクセスすることができる。メディカルナレッジ®のホームページより入会登録を行い、入金後、受講期間開始日より受講が可能である。講座は講義を受講し動画視聴後テスト（o×2 択式）を受けて 1 講座修了であり、3 講座で 1 単位となる。3 講座以上受講するとシールを請求することができる。

費用は全講座コースで 22,200 円、120 講座コースで 18,000 円、60 講座コースで 15,000 円、30 講座で 13,500 円となる。取得単位数は全講座コースでは無制限、120 講座コースは 40 単位、60 講座コースは 20 単位、30 講座コースは 10 単位である。

**システム名：[@Benefit オリジナル e ラーニング]**

**提供機関名：[株式会社 GENOVA]**

[システム概要]

株式会社 GENOVA は、「ヒトと医療を繋ぎ健康的な社会を創る」ことをミッションに掲げ、WEB サービスを通じて医療従事者向けに後方支援を行っている。今後は、さらに医療現場に多方面から支援していきたいという思いから、平成 29 年 2 月 1 日、フォーユーメディカル株式会社と包括業務提携を締結するとともに、福利厚生サービス「@Benefit」事業を譲り受けることとなった。両社はそれぞれが得意とする医療分野で支援する活動を進めるとともに、それぞれの成果を掛け合わせることでサービスの成長と拡大に相乗効果を発揮させることが期待される。GENOVA がこれまでに提供してきた WEB コンサルティング事業・アプリ事業・求人事業に、医療従事者に特化した福利厚生「@Benefit」事業を新たに加えることによって幅広いトータルソリューションが提供できるようになる。

@Benefit とは、フォーユーメディカルが提供してきた「医療・介護従事者のための福利厚生代行（アウトソーシング）サービス」である。“医療・介護機関にも企業と同等な職場環境を”を合言葉に、スケールメリットを活かした多種多様な福利厚生メニューを提供している。医療・介護従事者のより良い暮らしと学び多き職場環境づくりをサポートするものである。JTB グループの福利厚生サービス『えらべる倶楽部』や「イベント&セミナー」「e ラーニング」などと提携して@Benefit を構築し、医療・介護従事者を対象としたオリジナルメニューを加えたバラエティに富んだ魅力的なサービスを提供している。

@Benefit のオリジナル e ラーニングはクラウド (ASP 型) で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。

e ラーニングの受講自体は無料だが、利用には@Benefit に入会し、入会金・月会費を支払う必要がある。医療・介護に直接携わる医療機関や介護機関の従事者はもちろんのこと、広く医療・介護を支える医療関連企業、介護関連企業の従事者も加入できる。ただし、加入は機関（組織）単位となっており、医療・介護機関および医療・介護関連企業従事者個人での利用申込手続きは受け付けていない。また、福利厚生制度としての利用となるため全従業員の加入を原則としている。

入会は、電話もしくはホームページの申込みフォームからの申し込みとなる。随時入会でき、入会金および初回会費（次回口座振替月までの会費）は、指定口座への振込みで支払う。また、入会後の月会費の支払いは口座振替による納入方法を採用しているため、原則として口座振替となり、翌月分の月会費が前月 27 日に指定の口座から引き落とされる。会員数に変更が生じた場合は毎月 15 日までに申し付けることで翌月から変更後の会員数に応じた会費が引き落とされる。契約期間は 1 年間とし、期間満了 1 ヶ月前までに契約解除の申し出がない限り自動更新（入会金・更新料無料）され、毎月 27 日に月会費が引き落とされるものとし、以後も同様とする。

入会金・月会費は以下のとおりで、別途消費税がかかる。契約は、法人の場合は「法人単位」、個人事業の場合は「事業所単位」となる。会費は原則損金処理（福利厚生費）が可能である。また、会員は「えらべる倶楽部」をはじめすべての@Benefit サービスを利用できる。

会員数	入会金	月会費
1～10名	一律 50,000 円／医療・介護機関	5,000 円／医療・介護機関
11～100名		480 円／1名毎加算
101名～		450 円／1名毎加算

**システム名：[U-Assist]**

**提供機関名：[日本データパシフィック株式会社]**

[システム概要]

U-Assist は大学生のための e-learning コンテンツシリーズであり、自主学習、授業補完、資格取得などの各種目的に合わせて利用できる教材が多数揃っている。さらに、医療従事者を対象とした教材も用意されていて、病院での職員研修として利用することができる。学習システムはクラウド（ASP）型で提供されていて、パソコンやスマートフォン、タブレットから学習コンテンツにアクセスすることができる。大学向けコンテンツは複数年契約が可能な利用期間 1 年間のライセンス方式である。また、バージョンアップがあった場合、「情報倫理デジタルビデオ小品集」以外は新バージョンのデータが提供される。これらは 1 キャンパス内の在校生（入学予定者および大学が開講する公開講座の受講者を含む）および教職員（就職予定者を含む）を対象として、単一の e-learning システム上で利用する場合のみである。登録人数、同時アクセス台数に制限はない。さらに 1 学校法人 5 本までコンテンツのテスト使用が 2 週間、教職員のみ無料で体験でき、正式な購入後提供されたコンテンツは、契約書に明記された制限はあるが自らカスタマイズすることが可能である。WebClass, Blackboard, manaba, Moodle といった e-learning システムに対応している。大学向けコンテンツは医学・医療系以外にも TOEIC 等の語学系、コンピューターリテラシーや基礎技術系、就職活動・社会人準備等幅広い内容を学ぶことができる。病院向けコンテンツは、同敷地内に勤務する医療従事者（あるいは、同敷地内のキャンパスに所属する学生・教職員）が対象である。1 人につき 1 つのアカウントが発行されるが、個人情報保護の観点から、発行された ID には氏名等は使用されず、単純な通し番号であるため、学習履歴を管理する際は、誰にどの ID を配布したのか記録する必要がある。病院向けコンテンツは歯科医師としての臨床トレーニングシリーズや医療事故防止の基礎知識、院内感染防止の基礎知識等を学ぶことが可能である。全 7 種類のコンテンツのうち、臨床トレーニングシリーズ以外は利用期間が 3 か月または 1 年のどちらか選択することができる。

大学向けコンテンツの費用は内容によって変わるが 10,000～950,000 円である。例えば、医学・医療系の臨床トレーニングシリーズ—歯科医師編—は 250,000 円、院内感染防止の基礎知識は 200,000 円となっている。病院向けコンテンツは病院内に専用の e-learning システムやサーバーを用意する必要はなく、インターネットへの接続環境さえあれば、手間をかけずに低コストで導入することができる。例えば、臨床トレーニングシリーズ—歯科医師編—は 7,700 円、院内感染防止の基礎知識は 3 か月利用の場合は 650 円、1 年利用の場合は 1,300 円となっている。1 教材につき初回 30 名以上で申し込みし、追加の場合は 1 教材につき 1 回 10 名以上必要である。

**システム名：[HSP®]**

**提供機関名：[東京海上日動メディカルサービス株式会社]**

[システム概要]

東京海上グループの医療健康関連事業会社である東京海上日動メディカルサービス株式会社は、1987年の創立以来、優秀な医師等の医療専門職を擁し、医療健康分野で事業展開をしている。1998年のメディカルリスクマネジメント室（MRM 室）開設以来、医師・看護師・薬剤師など医療職の視点と、法律や心理学などの視点から、医療・介護の現場に向けて、医療安全に関するコンサルティングや研修提供などをおこなっている。2001年にはMRM 室がHSP®サービス（Healthcare risk-management Support Program）を立ち上げた。これは、医療安全管理者の活動支援を行うために設けた会員制サービスであり、医療安全研修会の企画及び講師派遣や医療機関等へのリスクマネジメントコンサルティング、HSP®会員向けサービスの提供などを実施している。

HSP®サービスの会員になると（6万円／年間）、基本サービスとオプションサービスが受けられる。基本サービスでは施設内全職員向けの「医療安全に関する意識調査」が実施できるほか、会員専用のホームページの閲覧や『医療安全パスポート』（CD版学習教材）の一部を視聴できる。また、医療安全活動に役立つニュースの配信、最新の医療安全関連情報「医療安全トピックス」の提供、当社研究員が医療安全に関する話題を解説する『リッスン通信』の提供などのサービスも利用できる。オプションサービスではMRM 室が提供している医療安全研修の割引（通常価格より2万円割引）、医療安全活動を進めるうえで生じた疑問や相談の電話・メール・FAXなどによる対応や、医療安全活動の全般の支援を目的としたコンサルティング、医療安全活動が思ったように機能しない場合などにポイントを絞って支援するサービスなども行っている。オプションサービスは別途費用がかかる。

学習システムはクラウド（ASP型）で提供されており、パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。提供される学習コンテンツは、紙芝居型の教材が中心となっており、各編学習後にテストの受験ができる。

HSP®への加入は施設単位でとなる。加入を希望する際は、ホームページ上の会員規約を一読・同意のうえ、申込書をメールにて送る必要がある。会員期間は4月より翌年3月までの1年間で、会費は10,000円（税別）となる。なお、オプションの相談・情報提供サービス（電話・メール・FAX）は年間120,000円（税別）からで、会員期間の途中からでも利用開始が可能である。また、通年型のコンサルティングサービスは10回の訪問とメール、電話によるサポートで年間200万円からで、課題対応型のコンサルティングサービスは1課題につき30万円からとなる。

**システム名：[感染管理支援ラーニングシステム]**  
**提供機関名：[株式会社STB]**

[システム概要]

株式会社 STB は、マーケティングスキルと IT のテクノロジーを駆使して社会に貢献できるビジネスの確立をめざして医療・健康・教育の分野に特化した事業を展開している。医療・健康分野では、大手のシステムベンダーが不得意としている感染症関連のオリジナル検査システムを開発し、すでに 300 あまりの医療施設に納品をしている。感染症における検査業務の効率化を図るシステムから臨床の現場に役に立つサーベイランスに評価されている。また、医療を取り巻く厳しい経営環境の中で、コストカットではなくコミュニケーションを重視したマーケティング戦略で「集患」できるプロモーションプランも提供している。教育の分野では、PBL 教育の実践や医療従事者を対象とするメディカルサプリメントの e ラーニングの構築を手がけるとともに大学の入試広報プラン構築とコンサルティング、さらに学生向けのメンタルヘルスケアのチェックシート開発など、教育現場の問題解決のために積極的に活動をしている。

STB の提供する e ラーニングシステムの一つである「感染管理支援ラーニングシステム」は、医療従事者向けに感染症への認知・対応スキルの向上を目指した、チェックテスト機能付「気づき」の e ラーニングシステムである。感染症への知識は充分でもうっかりは中々なくなることから、普段からの簡単な繰り返しのトレーニングで危険なヒヤリ・ハット防ぐことを目的としている。学習システムはパッケージ型（オンプレミス）で提供されている。



## システム名：[SafeMaster「eラーニングシステム」]

### 提供機関名：[株式会社セーフマスター]

#### [システム概要]

株式会社セーフマスターは、JCI 認証取得のための支援機能を備え、提供している全システムが国内トップクラスの導入実績を誇る。インシデント管理システム、感染管理システム、褥瘡管理システム、NST 管理システム、緩和ケア管理システム（国内初・唯一の専用システム）、TQM・退院支援統合管理システム（国内初・唯一のチーム医療統合システム）は単独システムとしても統合システムとしてもチーム医療と医療の質・安全を強力に支援する。セーフマスターでは e ラーニングコンテンツ（教材）も自社制作しており、医療安全に関する法律、インシデント分析手法、褥瘡の基礎など、様々なコンテンツを用意している。これは、感染管理者や ICT だけでなく、院内職員全員が利用可能な「全員参加型」のシステムである。インシデント報告、統計分析、改善対策から安全研修まで医療安全活動に必須の機能をトータルにサポートする実績あるシステムで、また厚労省の「医療安全管理者の業務指針」に国内で初めて対応したシステムである。セーフマスター社製の e ラーニング教材 3 本が標準搭載されており、学習システムはパッケージ型（オンプレミス）で提供されている。

e ラーニングは全職員が受講でき、ビデオ動画や PowerPoint, Word, Excel 等の教材も自由に登録が可能である。教材ごとにテストやアンケートを設定でき、詳細な受講履歴を確認できる。また、集合研修の出欠データ（CSV）を取り込み、集合研修と e ラーニング研修の一元管理も可能である。個々の職員の受講状況が詳細に把握できる他、テストやアンケートの作成・集計もでき、医療安全のレベルアップに役立つなど、e ラーニングシステムを活用して院内安全研修のインフラを整備することができる。また、教材ごとに部門や個人にコンテンツを割り当てることも可能である。

提供される学習コンテンツは、講義を収録した動画教材が中心となっている。各システムのソフト本体に 3 本のコンテンツが無料で含まれており、セーフマスター社製のコンテンツ追加は別途費用が必要となる。「誰でもわかる RCA」、「FMEA を使いこなす」、「医療安全概論」、「医療と法」、「個人情報保護法に関する実務上の留意点」、「褥瘡 基礎・予防編」、「医療事故と民事刑事責任」、「医療過誤発生と対応事例」等から選択可能であり、今後も順次追加予定である。当サイトの教材紹介ページにて一部のコンテンツの動画サンプルを閲覧できる。また、掲示板や e ラーニングシステムにより、感染制御の知識向上を支援する機能も備えられている。

申し込みには、ホームページの「資料・見積請求」より入力フォームに記入・送信後、案内の連絡が届く。

# システム名：[S-QUE 院内研修 1000' & 看護師特定行為研修]

## 提供機関名：[一般財団法人 S-QUE 研究会]

### [システム概要]

一般社団法人 S-QUE 研究会と公益社団法人全日本病院協会は、学び続ける病院のための研修プログラム「S-QUE 院内研修 1000' & 看護師特定行為研修」において看護師特定行為研修（共通科目分）のeラーニングを提供している。医療・看護の最前線で活躍する講師陣による研修プログラムをそれぞれの病院で行われている院内研修にスムーズに組み入れることができる、学び続ける病院のための研修サービスである。研修はオンデマンドで提供され、パソコン、タブレット、スマートフォン等で配信期間中 24 時間いつでもどこでも受講できる。

提供されるプログラムには「E ナース」「ワンポイント E ナース」「新特別企画」「フォローアップ必要度」「ワンポイント介護」などがある。

E ナースは看護師を対象に年間 24 本の講義を配信しており、オンデマンド研修期間は 4 週間である。積み重ねて行きたいシリーズプログラムと新規プログラムがおおよそ 4:6 の割合で提供され、理論とエビデンスに基づいた最新の看護知識や、臨床判断能力、対人関係力を身につけることができる。

ワンポイント E ナースは臨床実践能力を身につけるための基礎看護技術が学べる講義で、厚生労働省「新人看護職員研修」に基づいた映像プログラムで、視聴期限を設けず、毎月新しいコンテンツが追加される。新人看護師や復職者などが対象で、年間 84 本のコンテンツが配信される。また、オンデマンド研修期間は公開日より期限なしである。

新特別企画は、管理者を含む全ての病院職員を対象に話題のテーマを提供することで、地域包括ケア、機能評価、医療安全、チーム医療など、医療施設が今おかれている状況を様々なアングルから検証する。配信本数は年間 6 本、オンデマンド研修期間は 2 ヶ月である。

フォローアップ必要度では、高度実践「重症度、医療・看護必要度」院内研修の進め方を学ぶことができる。指導者研修で学んだことを院内に持ち帰りどのように研修を進めて行くか、悩んでいる声に応えた、実践のために活かせるフォローアップとして一歩進んだコンテンツを提供する。対象は看護師で配信本数は年間 6 本、オンデマンド研修期間は 2 ヶ月である。

ワンポイント介護は、「介護プロフェッショナルキャリア段位制度対応」の介護技術研修プログラムである。介護職員、看護補助者対象の研修プログラムで、視聴期限を設けず新しいコンテンツが追加される。配信本数は年間 66 本である。

また、S-QUE 院内研修 1000' に契約すると、S-QUE 研究会が毎年主催している「重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修」の事前 eラーニングとして、取り組みば取り組みだけ習熟度が上がると定評ある「看護 Wise Clipper」の ID が会員病院に無償で提供（利用者 ID5 個、管理者 ID1 個）される。「看護 Wise Clipper」とは、院内の必要度の評価項目を詳しく学習し、評価項目を全て網羅した試験問題で習熟度を確認できるコンテンツである。試験の傾向分析で苦手分野が一目で確認でき、必要度に関する最新情報も随時更新される。

講義資料はいつでも必要な時にダウンロードでき、確認テストは丁寧な解説と全国平均の比較グラフが表示される。また、ポートフォリオで個人の研修履歴の確認や、マネージャー画面で個人研修や集合研修の受講履歴を確認できる。

ホームページの申込フォームまたは FAX で申し込むことができ、受講手続きや受講料金の支払い方法など

の詳細は、申込み後 1 週間以内に案内される。具体的には登録用紙が送付されたのちユーザーID が発行される。

S-QUE 院内研修 1000' & 看護師特定行為研修のセットプランは診療所やクリニックを含む医療施設 0～99 床が 38,000 円/月、100～199 床 45,000 円/月、200～399 床 60,000 円/月、400 床以上が 80,000 円/月となっており、登録 ID 数は病院関係者に限り無制限である。学校法人・株式会社を含む複数施設の場合 80,000 円/月で、登録 ID 数は 100ID まで（100ID 以上の場合は問い合わせが必要）である。

全日病 SQUE e ラーニング看護師特定行為研修（共通科目分 315 時間）単体プランの申し込みは診療所やクリニックを含む 0～99 床が 28,000 円/月、100～199 床 35,000 円/月、200～399 床 50,000 円/月、400 床以上が 70,000 円/月であり、登録 ID 数は病院関係者に限り無制限である。学校法人・株式会社を含む複数施設の場合 70,000 円/月で、登録 ID 数は 100ID まで（100ID 以上の場合は問い合わせが必要）である。

S-QUE 院内研修 1000' & 看護師特定行為研修のセットプランと全日病 SQUE e ラーニング看護師特定行為研修（共通科目分 315 時間）単体プランは区分別科目（オプション）を加えることが可能で、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連と血糖コントロールに係る薬剤投与関連がそれぞれ 20,000 円/月、呼吸器（気道確保に係るもの）関連が 10,000 円/月で利用できる。

S-QUE 訪問看護・介護ケア講座&看護師特定行為研修は、介護を含む訪問看護ステーション・看護を含む小規模多機能型療養介護・デイサービスまたはグループホーム・高齢者複合施設または地域包括支援センターほかで 20,000 円/月、老人保健施設・老人福祉施設・有料老人ホームほかで入所定員 60 名以上 35,000 円/月、入所定員 60 名未満 30,000 円/月である。法人（複数施設）として申し込む場合は別途相談する必要がある。登録 ID 数は事業所職員に限り無制限である。

また、日本病院会、全日本病院協会会員病院は 1 割引（オプション除く）で利用できる（S-QUE 訪問看護・介護ケア講座&看護師特定行為研修の場合は全国訪問看護事業協会会員事業所も 1 割引）。契約は 1 年毎（オプションは半年毎）となり、契約に変更がない場合は自動更新される。支払い方法は一括、半年、月額払いから選ぶことができ、別途消費税がかかる。これらのプログラムは一週間無料で試すことができる。

**システム名：[日本医師会生涯教育 on-line 日医 e-ラーニング]**  
**提供機関名：[日本医師会]**

[システム概要]

「日医 e-ラーニング」は、インターネット上で日本医師会生涯教育制度における単位・カリキュラムコードが取得できる日本医師会会員向けの教育コンテンツである。講座は 3 つあり、それぞれ配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて 80%の正答率を得ることによって、指定されたカリキュラムコードと単位が取得できる。3 つの講座は「生涯教育講座」と「インターネット生涯教育協力講座」、「話題の医学」で、3 つともムービーを視聴後、関連する設問に回答するものである。各コンテンツは日本医師会員だけが閲覧・解答の上、単位とカリキュラムコードを取得できる。利用にはユーザーID（会員 ID の 10 桁の数字）とパスワードが必要となる。学習システムはクラウド(ASP 型)で提供されている。

コンテンツを受講し、正答率を満たさなかった場合は再解答が可能である。また、年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限が設けられていない。単位付与については日本医師会生涯教育制度学習単位取得証をもって通知されるが、インターネットで随時確認できる。

## システム名：[医療安全推進者養成講座]

## 提供機関名：[日本医師会]

### [システム概要]

日本医師会医療安全推進者養成講座は、医療事故や医療紛争の背後にある本質的な問題に適切に対処できる人材を育成・養成することによって、医療関係機関の組織的な安全管理体制の推進を図ることを目的として、平成13年に開設された。開設から5年間は紙媒体による通信教育という形で行われてきたが、受講者の要望や時代のニーズに沿ったものにするため、平成18年度からe-learning方式に変更された。学習システムは、クラウド(ASP型)で提供されており、インターネットを使用できる環境にあること(学習専用サイトの閲覧、E-mailの使用、動画の視聴等)が必須となる。

募集の要項として、現在医療機関、福祉関連施設の職員および都道府県医師会、郡市区医師会の苦情・相談受付窓口業務担当者等であって、医療の安全管理に対する強い意欲と高い関心を有する者を対象としている。募集人数は1,000人で、学習専用サイトにおいて1年間(1ヶ月間で1カリキュラム(教科)のペースで進行)のe-learningによる教育方法とされる。各教科の学習は、1ヶ月に1教科を学習する形態で進められるが、その進行に合わせて、教科毎に演習問題が出題される。受講者はすべての教科の演習問題を締切日までに回答する必要がある。なお、受講開始後における教科の内容についての質問は、原則E-mailのみで可能である(但し、個人的な相談内容は除く)。また、医療安全推進者養成講座の受講者のうち、「全教科の演習問題に」「締め切り期限内に回答し」「いずれも6割以上正解」かつ、指定日に開催される講習会に出席、もしくは後日配信される動画を視聴し期限内にレポートを提出した者に対し、日本医師会長名で「医療安全推進者養成講座修了証」が発行される。受講料は年間32,400円(税込)で、講習会の受講費用等を含むが、講習会に出席する旅費・交通費等は受講料に含まれない。受講期間は1年間とされる。申し込み手続きは、ホームページの新規受講申込フォームにて必要事項を入力すると、入力したメールアドレス宛に仮受け番号と受講料の振込先口座の記載されたメールが届き、受講料の入金確認をもって正式な受け付けとされる。また、受講者としての正式な確認の通知は、ID(受講者番号)・パスワードの発行によって代えるものとされる。なお、万が一受講を認めない旨の通知をする場合には、受講料等の返還をもってこれに代えられる。

学習の進め方は次のとおりである。1ヶ月間に1教科の割合で、学習専用サイト上に掲載された教材を活用して学習し、演習問題に対する回答を締切日までに行う。締切日の翌日に解答・解説が掲載され、各自で自身の回答したものと照らし合わせて確認する。講習会を含めた学習時間の合計は184時間を目処とする。

## システム名：[インターネット配信研修 [オンデマンド]]

提供機関名：[公益財団法人 日本看護協会]

### [システム概要]

日本看護協会は、看護職の学習機会の拡充を推進し、キャリア開発を支援している。インターネット配信研修[オンデマンド]では、本会事業に関連する基礎知識および時代・社会ニーズに合った内容の普及と浸透を目的に研修を配信している。

研修番号 105 の「高齢者介護施設における介護事故予防と感染対策の実際」は個人向け・施設向け配信研修で、研修時間は 90 分である。高齢者介護施設に必要な介護事故予防と感染対策を実践するための知識を習得することを目標とし、高齢者介護施設における介護事故予防の基本、多職種で取り組む介護事故予防の実際、高齢者介護施設における感染対策の基本、多職種で取り組む感染対策の実際が主な内容である。高齢者介護施設に勤務する看護職、介護職などを主な対象者とする。

研修番号 109 の「【CLoCMiP レベルⅢ認証申請のための必須研修】医療安全と助産記録」も同じく個人向け・施設向け配信研修で、研修時間は 90 分である。記録の基礎と助産記録を理解することを目標とし、主な研修内容として助産記録の具体的な考え方、安全な医療提供のための記録のあり方、助産記録の具体例、確認テストが行われる。助産師（アドバンス助産師含む）、産科領域に勤務する看護職を主な対象者とする。

申込・受講方法は、①申し込み前の各種確認②申し込み③支払い④受講開始の 4 つのステップで完了する。学習システムはクラウド(ASP 型)で提供されており、個人向け配信研修は自宅などのパソコン、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスから、いつでも好きなときに何度でも研修を受講することが可能である。研修修了証発行については手数料が発生せず、Web 上で発行が可能である。施設向け配信研修は、代表者 1 名の申込で、施設内集合研修の一環として活用ができる。こちらの受信環境は PC のみである。研修修了証は 1 名ごとに手数料が発生し、施設責任者が承認する申請書提出の上、Web 上で発行される。個人向け・施設向けのどちらも受講料（税込）は 1 研修／90 分で日本看護協会会員 2,052 円、非会員 3,132 円であり、1 研修／180 分では会員 4,104 円、非会員 6,264 円である。また、支払い方法に関してはクレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy（ATM 決済）、Pay-easy（ネットバンキング）の 4 つの方法から選ぶことができる。

提供される学習コンテンツは映像教材が中心となっており、「【CLoCMiP レベルⅢ認証申請のための必須研修】医療安全と助産記録」では確認テストを受けることができる。

## システム名：[訪問看護 e ラーニング]

## 提供機関名：[公益財団法人 日本訪問看護財団]

### [システム概要]

公益財団法人日本訪問看護財団は、職場や自宅のパソコンから自分の好きな時間に訪問看護の知識を学べるよう、「訪問看護 e ラーニング」を提供している。訪問看護の基礎を勉強したい訪問看護師，退院支援に活かすために知識を広げたい病院看護師，在宅看護論を教えるときに活用したい看護教員，次の就職のために時間を有効に活かしたい離職中の看護師などにオススの内容になっている。学習システムはクラウド(ASP型)で提供されており，インターネットを使ってパソコンの画面を見て学習でき，財団の経験豊富な担当者ともメールでやりとりができる。スマートフォン・タブレット等の利用には対応していない。

提供される学習コンテンツは，図表や写真・動画を用いた教材が中心で各章ごとに確認テストが用意されており，訪問看護の経験がない人でもわかりやすいようになっている。確認テストは 70%以上の正解で合格とされるが，合格するまで何度でも受けられる。学習中にわからないことがあったときはコース内のチャットボタンで担当者に質問ができる。また，学習を進めていく上で困ったことなども担当者に相談することができる。担当者からメールで連絡事項が送られることもある。

訪問看護 e ラーニングは「新たな訪問看護研修カリキュラムステップ 1」というカリキュラムに準拠して作られており，訪問看護 e ラーニングを終了すると「訪問看護 e ラーニング修了証書」が日本訪問看護財団より発行される。また，訪問看護 e ラーニングの受講と所定の実習を行った場合，「訪問看護研修ステップ 1 修了証書」が発行される。都道府県看護協会が訪問看護師養成講習会（「訪問看護研修ステップ 1」）にこの訪問看護 e ラーニングを活用する場合と個人申込の場合には手続きなどに違いがあり，詳しくは居住地もしくは勤務地の都道府県看護協会または当財団まで問い合わせる必要がある。

受講料（税込）は，個人申込の場合 16,000 円，都道府県看護協会経由での場合 14,000 円である。なお，都道府県看護協会経由での場合は，各協会が主催する訪問看護師養成講習会に「訪問看護 e ラーニング」を活用する場合に限られる。個人申込の場合，訪問看護 e ラーニングのページにある「体験版」で e ラーニングが視聴できるか確認のうえ，「訪問看護 e ラーニング」受講申し込みフォーマットに必要事項を入力し，受講料を納付するとユーザーID とパスワードがメールで届き，受講を開始できるようになる。受講料の支払いはクレジットカードまたはコンビニエンスストアのどちらかを選択でき，ユーザーID とパスワードの連絡はクレジットカード払いなら即日，コンビニエンスストア払いなら一両日中に届く。申込はホームページ上からのみに限られ，電話や FAX での申込には対応していない。受講可能期間はユーザーID とパスワードの発行日から 5 ヶ月間で，その後 1 ヶ月間の閲覧期間がある。受講可能期間にはレッスンコンテンツ及び参考資料・映像の視聴，テスト受験，チャット利用が可能で，閲覧期間はレッスンコンテンツ及び参考資料・映像の視聴のみ可能である。受講期間の延長はできず，5 ヶ月以内に修了できなかった場合は再申込の上，最初から受講し直す必要がある。

平成 30 年度「訪問看護 e ラーニング」は 30 年 4 月 20 日申込開始・開講予定である。詳しくは 3 月中旬頃，当ホームページで案内される。

# システム名：[CITI Japan eラーニングプログラム]

## 提供機関名：[一般財団法人 公正研究推進協会（APRIN）]

### [システム概要]

CITI Japan eラーニングプログラムの教材は、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」CITI Japan プロジェクト（代表校：信州大学，連携校：東京医科歯科大学，福島県立医科大学，北里大学，上智大学，沖縄科学技術大学院大学）およびNPO 法人日米医学教育コンソーシアムにより，米国 CITI Program の英語版教材を骨格として，日本の法律・指針その他に沿って作成された。平成 29 年度より一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）が引き継ぎ，教材の作成および改訂を行っている。

学習システムは，クラウド(ASP 型)で提供されており，パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。Web 上にログインからログアウトまでの方法や受講から修了証発行までの流れが示されているので，比較的，容易に受講を開始することができる。

提供される学習コンテンツはテキスト教材が中心となっており，クイズに回答すると採点結果と正解が表示される。クイズは繰り返し受講でき，受講履歴表で必須受講科目の平均点を確認することができる。全ての必須受講科目のクイズの平均が 80%以上であれば修了となり，受講履歴欄に「修了 (Passed)」と表示される。

管理者側は，「成績管理代表者」という管理者階層により，「成績管理部局（部署）」の作成し，成績管理部局（部署）の成績管理者を追加・削除したり，随時受講コースを作成したりすることができる。成績管理代表者のアカウントは1つのユニットにつき1つのみで，APRIN 事務局が登録する。

受講者登録方法は個別登録または CSV で登録のどちらかが選べ，その際，成績管理代表者または成績管理者が受講者の受講コースを指定するか，受講者に自ら選択させるかを選ぶことができる。CSV アップロードにより，既存の受講者情報を一括で書き換えることやパスワードをシステムに自動生成させることが可能である。自動生成されたパスワードは受講者へメールで通知され，受講者は初回ログイン時に変更することができる。成績管理代表者または成績管理者が一時的なパスワードを登録し，受講者が初回ログイン時に変更するよう設定することも可能である。

受講者が所属を異動し，前所属先で受講した履歴を異動先で引き継ぎたい場合は，①異動先の成績管理代表者または成績管理者が該当の受講者のユーザー名（ID）を指定→②受講者が承諾，という 2 ステップで異動させることが可能である。受講者が所属できるのは 1 つの成績管理部局（部署）のみとなり，また，異動が完了すると，前所属先の成績管理代表者へお知らせのメールが送付される。成績管理代表者が管理する成績管理部局（部署）間の異動であれば，異動機能を使わなくても映すことが可能である。

受講コースを設定する際，コースの受講期限と修了証の有効期限の設定が可能である。コースを受講する期限を設定し，受講日が期限外となっているスコアを修了判定の対象外とすることができる。修了証の期限は初期設定では 5 年となっているが，コース設定時に変更可能である。有効期限は，コースの受講期限の終了期日が設定されている場合，その終了期日からカウントされ，設定されていない場合，個々の修了証の修了日からカウントされる。合格に必要なスコアは「1 単元 80%以上」となり，修了証は PDF 形式で発行される。

また，受講者の初回ログイン時の成績開示可否選択で「可」にした場合，JST の事業採択時に義務付けられる研究倫理教育の受講について，受講者が修了証番号を伝えれば，JST の成績管理者が修了証を照会し，修了の確認を取ることができるようになっている。開示の可否については受講者のプロフィール画面から変



更でき、修了証の照会はファンディングエージェンシーの成績管理者のみ可能である。なお、ファンディングエージェンシーは現在は APRIN の会員である JST のみで、今後、他のファンディングエージェンシーも可能となるよう検討されている。さらに、成績管理部局（部署）で受講すべきコースとは別に、全受講者が「JST 事業受講者コース」（生命医科学系、理工系、人文系）を受講できる。これにより、所属している成績管理部局（部署）に受講コースの設定がなくても JST で事業採択時に義務付けられている受講コースの修了証を出すことができる。

インターフェイスの工夫として、サイトの表示言語は「日本語／英語」を選択可能である。また、ログイン後のページ（メインメニュー）に受講すべきコースの名称とその必須単元が表示され、受講者から見て受講すべき単元がわかりやすくなっている。

受講には、法人の場合は維持機関会員申込み、個人の場合は個人会員申込みが必要であり、WEB の申込みフォームに必要事項を入力して申込みする。

維持機関会員になった機関は、ユニット数（維持機関会員に発行される成績管理代表者のアカウント数）10 まで及び登録者数 100 名までは e ラーニングプログラムを無料で受講できる。会費は、①維持機関会員会費と②APRIN e ラーニングプログラム利用料金（1）、（2）を合計したもので、それぞれの内訳により料金が異なる。

① 維持機関会員会費（単位：円）

区分	カテゴリ	金額	備考
維持機関会員会費	非営利法人	200,000	1 機関毎
	営利法人	400,000	1 機関毎

※非営利法人会費のうち 180,000 円は不課税、20,000 円は税込。営利法人会費のうち 360,000 円は不課税、40,000 円は税込。

② APRIN e ラーニングプログラム 利用料金（単位：円・税込）

区分	カテゴリ	料金区分	金額	備考
利用料金 (1)	ユニット数	0～10	0	営利法人は、10 割増とする
		11～20	50,000	
		21～30	100,000	
		31～40	150,000	
		41～50	200,000	
		51～	250,000	
利用料金 (2)	登録者数	0～100	0	営利法人は、10 割増とする
		101～250	50,000	
		251～500	100,000	
		501～750	150,000	
		751～1,000	200,000	
		1,001～2,000	250,000	
		2,001～3,000	300,000	
		3,001～4,000	350,000	
		4,001～5,000	400,000	

		5,001～10,000	450,000	
		10,001～	500,000	

個人会員の場合、機関会員のような成績管理機能は利用できない。また、受講期限は申し込み年度の年度末までとなる。料金はアカウント登録の際に選択するコースまたは領域の数により異なり、ご提案コースとして医学研究者標準コースが4,000円（2領域）、基本コース、JST研究者コース、JST研究者コース（理工系）、JST研究者コース（人文系）はそれぞれ2,000円（領域）である。コースの内容についてはホームページ上で確認できる。請求については、WEBからの申込み後、アカウント登録およびコース選択が完了したら、その受講領域数に応じた請求書が発行される。請求書は登録の住所へ郵送にて送られ、支払いは銀行振り込みで受け付けている。振込みの期日は請求書発行月の翌月末で、振込みの手数料は自己負担となる。

**システム名：[知識習得型研修]**

**提供機関名：[公益財団法人 日本薬剤師会]**

[システム概要]

日本薬剤師会は、平成 28 年 4 月 1 日に施行された「健康サポート薬局」に係る都道府県知事等への届出を行うにあたって必要な、厚生労働大臣が定める基準で規定される「常駐する薬剤師の資質に係る所定の研修 (30 時間)」のうち「知識習得型研修 (22 時間分)」について研修を提供している。学習システムは、クラウド(ASP 型)で提供されており、パソコンと iPad, iPhone から学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。なお、Android での動作は未検証である。

提供される学習コンテンツは、静止画スライドの閲覧と確認テストであり、音声を伴わない形式なので、音声を再生できる環境は必要ない。また、確認テストは時間制限なしで合格するまで何度でも受験できる。全コンテンツを受講し確認テストに合格すると、「知識習得型研修の受講証明書」がダウンロードできる。また、申し込みから 2 年間は受講完了後であってもコンテンツの閲覧ができる。ただしその間に同じアドレスでの再申込はできない。なお、研修修了に当たっては、知識習得型研修のほか、技能習得型研修 (8 時間分の集合研修) の受講が必要である。

申し込みは個人単位での受け付けとなっており、受講料は 8,000 円 (税別) で、クレジットカードまたはコンビニエンスストアでの支払いとなっている。ただし、偶数月の第 2 木曜日、午前 1~5 時は、決済システムの定期メンテナンスの為、コンビニ決済申込ができない。受講料の決済翌日の午前 6 時より e-ラーニングの受講が可能で、利用期間は 2 年間である。

**システム名 : [e ラーニングシステム]**

**提供機関名 : [公益社団法人 日本臨床工学技士会]**

[システム概要]

公益社団法人日本臨床工学技士会は、e-ラーニングシステムの提供でインターネット及び Adobe Flash Player が使用できる環境ならどこでも当会主催の講習会・研修会を受講することを可能としている。学習システムは、クラウド(ASP 型)で提供されており、e ラーニングシステム動作環境についてホームページ上で確認できる。Web 上にログインから受講までの流れ示したページが掲載されているため、自分で確認しながら受講が始められる。

提供される学習コンテンツは、講義を収録した映像教材が中心となっている。修了した教科はクラストップ画面の教科一覧に修了した旨のメッセージが表示され、こちらで進捗状況を確認することができる。また、各教科をクリックすると学習時間が確認できる。E ラーニング研修会の修了条件は「講義を最後まで視聴すること」であり、受講期間終了約 10 日前と約 3 日前に修了もしくは未修了が知らされる。受講修了が確認されると、受講期間終了後に修了証が発行・送付される。講義内容またはシステムについての質問は受講画面の「質問する」ボタンより送信でき、回答は「メンタリングボックス」にて確認できる。

申込みは 1 名につき 1 アカウントまでで、日本臨床工学技士会会員は会員用 e-プリバドマイページにログインの上、「講習会・試験申込」を選択し、決済手続きを行う。非会員は非会員用 e-プリバドマイページを新規作成・ログインの上、「講習会・試験申込」を選択し、決済手続きを行う。ただし、非会員専用ページでは受講状況が受講履歴ページに反映されない。申込後、E-MAIL と封書にて e ラーニングシステムの URL, ID, パスワードが通知され、また、受講開始 1 週間前までにテキストが封書と同封されて発送される。

## システム名：[感染症対応力向上プロジェクト]

## 提供機関名：[公益財団法人東京都医師会・東京都・東京商工会議所]

### [システム概要]

東京都では、平成 27 年度から、東京商工会議所及び東京都医師会と連携し、企業の感染症対策を支援するプロジェクトを展開している。本プロジェクトは、職場を感染症から守るために立ち上げられた。従業員の健康維持や企業のリスク管理の一助となるこの取組に、多くの企業の参加を募っている。本プロジェクトの特徴は、企業団体・医師会・行政が後押しする点、企業にとってやるべきことが明確な「コース」設定、ツール提供などによる参加企業のサポートである。東京商工会議所、東京都医師会、東京都の三者が連携して推進する体制を構築し、それぞれの強みを生かしながら、参加企業をアシストする。また、必要な知識の習得や風しん予防対策など、実践すべき取組を 3 コース設定している。企業は実情に応じたコースを選択して、すぐに取り組むことができる。コースとサポート内容についてまとめた表が以下の通りである。各コースとも、支援ツールの提供などにより円滑な取組をサポートする。また、参加申込みをした企業を「協力企業」、コースの基準を達成した企業を「達成企業」として、都のホームページに企業・事業所名等が掲載される。なお、「協力企業」のホームページ掲載期間は 6 か月間である。コース 3 は到達段階（風しん抗体保有者が従業員の 7 割・8 割）に応じて企業・事業所名が掲載される。

コース	サポート内容	達成基準
コース 1 感染症理解のための従業員	感染症の基礎知識ドリル（研修教材）を提供し、正しい知識の定着を図る。（研修教材は e ラーニングでも提供）	従業員の 8 割以上が教材受講
コース 2 感染症 BCP（業務継続計画）	BCP のひな形を提供し、職場で感染症患者が発生した場合に、業務を円滑に継続するための対処策の作成を図る。	事業所単位での BCP 作成
コース 3 風しん予防対策の推進	予防接種等協力医療機関を紹介し、従業員の抗体（免疫）保有の確認や予防接種の推奨等を促し、職場ぐるみで風しん予防を	風しん抗体保有者が従業員の 9 割以上

対象企業は、東京都内に所在する会社、会社以外の法人、個人事業主であり、事業所や部署単位での申込も可能である。受講料は無料で、申込書を記入して事務局に提出するだけで開始することができる。プロジェクト参加の流れは、説明会参加または資料請求後に FAX、郵送、電子メールで申込書を送付する。事務局から提供される教材を利用してプログラムを実施し、基準を達成したら教材等に同封されている報告書に記入のうえ事務局まで提出する。基準達成が確認されると達成確認書が郵送され、「達成企業」として東京都のホームページで公表される。

**システム名 : [e-learning 講座 一類感染症講習会]**  
**提供機関名 : [国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
国際感染症センター 国際感染症対策室]**

[システム概要]

国際感染症センターは、各地で指定を受けている一類感染症に対応をする医療機関の医療者の自己学習資料として、また感染症危機管理についてともに取り組む保健所や地方衛生研究所の方との情報共有・連携を強化するため、当院で開催をした一類感染症ワークショップの講義の e-learning プログラムを作成・提供している。学習システムは、クラウド(ASP 型)で提供されており、パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。受講料は無料で、ID・パスワードの取得のみで開始できる。また、受講の手引きを示したガイダンススライドが掲載されているため、比較的、容易に受講を開始することができる。提供される学習コンテンツは、講義を収録した音声付きの映像教材である。

**システム名：[評価機構の学習支援サイト（eラーニングサイト）]**  
**提供機関名：[公益財団法人 日本医療機能評価機構]**

[システム概要]

公益財団法人日本医療機能評価機構は、当機構で行う、医療クオリティマネジャー養成セミナーと医療対話推進者養成セミナーの受講者・修了者を対象に、セミナーの効果的かつ効率的な受講と、継続的な学習支援、情報提供を目的に、eラーニングを活用し提供している。また、当機構で行う各種セミナーなど、病院の質改善活動と参考になる情報の案内も適宜行っている。「医療の質に関する基礎学習の場」「医療の質に関する情報収集の場」「医療クオリティマネジャーの活動・情報共有の場」を学ぶことができる。学習システムは、クラウド(ASP型)で提供されており、学習コンテンツは、講義を収録した映像教材で提供される。

医療クオリティマネジャー養成セミナーと医療対話推進者養成セミナーの受講・修了が必要となるが、医療クオリティマネジャー養成セミナーは病院機能評価認定病院、又は受審申請済み病院に所属の者で 120,000 円、それ以外の医療機関に所属の者で 180,000 円の参加費がかかる。医療対話推進者養成セミナーは導入編のみ（1日間）の受講で 10,000 円、導入編・基礎編連続版（3日間）を受講する場合は認定病院、受審申込済病院、日本医師会会員、会員が開設する病院・診療所に所属する者は 45,000 円、それ以外の病院、診療所などは 60,000 円の受講料が発生する。

## システム名：[訪問看護 e ラーニング]

## 提供機関名：[公益財団法人 日本訪問看護財団]

### [システム概要]

公益財団法人日本訪問看護財団は、職場や自宅のパソコンから自分の好きな時間に訪問看護の知識を学べるよう、「訪問看護 e ラーニング」を提供している。訪問看護の基礎を勉強したい訪問看護師、退院支援に活かすために知識を広げたい病院看護師、在宅看護論を教えるときに活用したい看護教員、次の就職のために時間を有効に活かしたい離職中の看護師などにオススメの内容になっている。学習システムはクラウド(ASP型)で提供されており、インターネットを使ってパソコンの画面を見て学習でき、財団の経験豊富な担当者ともメールでやりとりができる。スマートフォン・タブレット等の利用には対応していない。

提供される学習コンテンツは、図表や写真・動画を用いた教材が中心で各章ごとに確認テストが用意されており、訪問看護の経験がない人でもわかりやすいようになっている。確認テストは 70%以上の正解で合格とされるが、合格するまで何度でも受けられる。学習中にわからないことがあったときはコース内のチャットボタンで担当者に質問ができる。また、学習を進めていく上で困ったことなども担当者に相談することができる。担当者からメールで連絡事項が送られることもある。

訪問看護 e ラーニングは「新たな訪問看護研修カリキュラムステップ1」というカリキュラムに準拠して作られており、訪問看護 e ラーニングを終了すると「訪問看護 e ラーニング修了証書」が日本訪問看護財団より発行される。また、訪問看護 e ラーニングの受講と所定の実習を行った場合、「訪問看護研修ステップ1修了証書」が発行される。都道府県看護協会が訪問看護師養成講習会（「訪問看護研修ステップ1」）にこの訪問看護 e ラーニングを活用する場合と個人申込の場合には手続きなどに違いがあり、詳しくは居住地もしくは勤務地の都道府県看護協会または当財団まで問い合わせる必要がある。

受講料（税込）は、個人申込の場合 16,000 円、都道府県看護協会経由での場合 14,000 円である。なお、都道府県看護協会経由での場合は、各協会が主催する訪問看護師養成講習会に「訪問看護 e ラーニング」を活用する場合に限られる。個人申込の場合、訪問看護 e ラーニングのページにある「体験版」で e ラーニングが視聴できるか確認のうえ、「訪問看護 e ラーニング」受講申し込みフォーマットに必要事項を入力し、受講料を納付するとユーザーID とパスワードがメールで届き、受講を開始できるようになる。受講料の支払いはクレジットカードまたはコンビニエンスストアのどちらかを選択でき、ユーザーID とパスワードの連絡はクレジットカード払いなら即日、コンビニエンスストア払いなら一両日中に届く。申込はホームページ上からのみに限られ、電話や FAX での申込には対応していない。受講可能期間はユーザーID とパスワードの発行日から 5 ヶ月間で、その後 1 ヶ月間の閲覧期間がある。受講可能期間にはレッスンコンテンツ及び参考資料・映像の視聴、テスト受験、チャット利用が可能で、閲覧期間はレッスンコンテンツ及び参考資料・映像の視聴のみ可能である。受講期間の延長はできず、5 ヶ月以内に修了できなかった場合は再申込の上、最初から受講し直す必要がある。

平成 30 年度「訪問看護 e ラーニング」は 30 年 4 月 20 日申込開始・開講予定である。詳しくは 3 月中旬頃、当ホームページで案内される。



**システム名：[山梨 OQT 医療安全 e ラーニング CD 教材]**

**提供機関名：[山梨医療安全研究会]**

[システム概要]

山梨医療安全研究会は、山梨県内における医療事故防止を目指し設立された一般社団法人である。医療・福祉・介護従事者に向けた実技研修や講演会、関連施設への見学会などを開催し、医療安全の向上を目的とした知識と技術の共有を行っている。山梨 OQT プロジェクトは、医療安全教育を行う担当者の抱える「資料作成に時間がかかる、研修時間確保に苦勞する」という悩みを解決すべく結成されたもので、e ラーニングとして CD 教材を提供している。現場で働く看護師や薬剤師、臨床工学技士が智慧を出し、医療安全教育に携わる大学教員が“まじめに楽しく”取り組める教材に仕上がっている。内容も年々充実しており、看護師新人教育だけでなく・介護施設に従事する全ての職員が知っておくべき内容が盛りだくさんに収録されている。教材内のキーワードや知識確認試験で利用者の学習度チェックが可能であり、施設内医療安全教育のほか、職員の医療安全教育にも活用できる。第 11 回医療の質・安全学会学術集会ベストプラクティス章（優秀賞）を受賞している。

CD-R 形式の教材は 1 セット 2,500 円（税込・郵送費等諸経費込）で学生個人利用の場合は 1,800 円となる。

Flash Player と Acrobat Reader DC で作動し、Mac や Windows を問わず大部分の PC で利用できる。同一施設内であれば複製利用が可能で、利用人数制限はない。

申込には研修会場からまたはメールからの二通りの方法があり、研修会場からの場合は申込用紙に必要事項を記入し受付に提出、メールからの場合はメールに必要事項を明記し送信して申し込む。メールは学生個人利用の場合、申込用紙をスキャナ（写メ可）して送信する必要がある。申込用紙や必要事項は Web で閲覧できる。手続き終了後 CD-R と代金の振込用紙が送付される。

## システム名：[医療安全管理者養成研修講座]

## 提供機関名：[一般社団法人 日本病院管理機構]

### [システム概要]

日本病院管理機構は医療安全管理における教育・研修・分析・評価の専門機関である。当機構が提供する医療安全管理者養成研修講座は、厚生労働省が公表した報告書「医療安全管理者の質の向上のために～」に則って、安全で質の高いケア提供のための業務改善の取り組みを働きやすさと安全の視点でプログラムされた。医療安全管理専門教育 22 年の実績を持ち、全国の医療従事者が選ぶ「医療安全講座，教育研修部門」において、16 年連続第 1 位に選ばれているほか、学習指導やアフターフォローについても高評価を得ている。

講座では、医療リスク各項目の解説と問題点の見出し方や捉え方、そして、リスクマネジメント的思考による注意点や予防策などを履修できる。また、リスクマネジメント的観点からの分析結果により、問題点を洗い出し、各項目それぞれの注意点や予防策・改善方法を履修する。そして、目で見てわかる正式な分析方法「品質管理の七つ道具」を学び、この方法を利用することでスタッフの意識づけができ、ヒヤリ・ハットから問題点を洗い出すことができる。

当講座のメリットとして、認定指導講師が 24 時間マンツーマンで指導することが挙げられる。「時間や場所に制約されないプログラム」の認定講座として、認定指導講師（教育コンシェルジュ）が受講者一人ひとりを担当し、24 時間体制のマンツーマンで指導してくれる。この認定講座は、郵送でのやりとりだけではなく、通勤時 CD での学習や電話・FAX・メールで、いつでも相談・質問ができる。また、業務改善やスタッフ指導に必要な研究資料も随時提供されるので、自分のペースでじっくりと納得いくまで学べ、ひとりで悩むことなく安心して在宅で学習をすすめながら、業務に従事できる。

提供される学習コンテンツは実務テキスト教材であり、専門用語も図解を用いて丁寧に解説している。受講中はもちろん、医療安全管理者認定後も、いつでも無料で取り寄せられる。また、自分のペースで添削指導も受けることができる。担当講師へ提出した履修問題は、採点・解説を加えて返却されるため、自分では気づきにくい部分も確実に身につけることができる。受講は CD-ROM から可能である。医療安全管理 4 科目の音声解説 CD 付き（8 枚）で場所を問わず、CD を聴くだけでも学習が進められる。電子テキストとして、パソコンはもちろん、データを移行すれば、タブレット、スマートフォンでも学習できる。

また、新しい情報（全国の医療事故ニュース）を必要時にいつでも収集できるほか、業務改善やスタッフ指導に必要な資料を生涯にわたり何度でも無料で受け取れる。

申込は FAX または電話にて受け付けており、申込完了後、即日、テキスト教材一式と納付案内、履修問題 I，返信用封筒が届く。振込は銀行限定である。第 IV 章まで履修問題を進めていき、の採点・添削が終了すると、「添削票」に同封されて「認定試験問題」が送付される。「認定試験問題」を解答のうえ担当の認定指導講師が採点・添削を行い、その結果により「医療安全管理者リスクマネジャー認定証」が交付される。

## システム名：[看護師の特定行為研修]

## 提供機関名：[放送大学]

### [システム概要]

放送大学は、学びたい人がいつでも学べる「開かれた大学」を目指して設置された大学であり、指定研修機関 5 機関の協力施設である。当学で開講している「看護師の特定行為研修」は、看護師が手順書により特定行為を行うために特に必要とされる実践的な理解力・思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修である。厚生労働省は 2025 年度までに 10 万人以上の特定行為研修を受けた看護師の養成を目指している。当学は、看護師の特定行為研修「共通科目」のうち、「講義」・「演習」部分の全科目をオンライン授業として開講しており、全国の看護師、医療機関の従事者に、いつでもどこでも学べる科目を提供している。講義は 1 学期 1 科目から受講可能で、全科目ラジオやテレビ、パソコン・スマートフォン・タブレットなどのオンライン上で完結するため、通学の必要はない。

共通科目は特定行為研修のうち、「全ての特定行為区分に共通するものの向上を図るための研修」として位置づけられ、「講義・演習又は実習」で合計 315 時間の研修となっている。当学の共通科目は、「学識・経験豊かな講師陣（下表参照）による、看護師の能力開発・向上を目指す講義・演習」「今後の急性期医療や在宅医療、訪問看護等を支える看護師を養成するための充実した内容」という特色がある。当学で開講する科目の単位を全て修得することにより、「共通科目」のうち「講義」・「演習」部分を修了することができる。ただし、指定研修機関に所属せず、独自に本学の科目の単位を修得した場合、「共通科目」の単位として認定されるかは、所属する指定研修機関の判断となる。また、当学では、「共通科目」のうち「実習」部分については開講していない。

当学では、半年間在籍する「修士科目生」、1 年間在籍する「修士選科生」、2 年以上在籍して大学院修了を目指す「修士全科生」の 3 種類の学生種がある。入学料は修士専科生 18,000 円、修士科目生 14,000 円、修士全科生 48,000 円で、授業料は 1 単位あたり 11,000 円である。修士全科生のみ研究指導（8 単位）を履修でき、研究指導料は 1 年間につき 88,000 円である。指定研修機関等から 20 名以上の集団入学をすると、一人当たりの入学料が半額に値引きとなる。また、直前の学期に修士選科生または修士科目生であった者が引き続き修士選科生または修士科目生に入学する場合、入学料が 25%割引枯れる。なお、大学（教養学部）からの継続は適用されない。さらに、指定研修機関が当学との単位互換協定を結ぶ（結んでいる）場合には入学料は免除となる。学費の納入方法は、銀行・信用金庫等の金融機関の窓口での現金払込み、ゆうちょ銀行・郵便局（窓口及び一部の ATM）での現金払込み（ATM は 10 万円まで）、コンビニエンスストアでの払込み（30 万円まで）となる。

当学の入学募集期間は年 2 回あり、その中でもそれぞれ第 1 回募集（1）と第 2 回募集（2）に分かれている。第 2 回募集で出願する場合、受講用 ID の通知が入学日以降となることがあるので、第 1 回募集での出願がすすめられている。なお、集団入学での出願は第 1 回募集期間のみとなる。出願後、書類審査が行われる。修士科目生、修士選科生の場合、入学試験はない。書類審査合格後、納付通知が送付され、入学料・授業料などの入金の確認が取れ次第受講用 ID が通知される。

受講用 ID は入学許可証に記載されており、その ID で学生専用サイト（Campus Network Homepage）にログインして学習を開始する。テキスト、参考資料等も、ダウンロードして利用できるように全て同サイトに掲載されている。成績評価と単位認定は、小テスト・最終テスト・レポート等の成績に基づき行なわれる。修士選科生の者は、指定の期間内に次学期の科目登録と学費の振込を行なう。

**システム名：[HIV/AIDS eラーニングプログラム]**  
**提供機関名：[独立行政法人 国立国際医療研究センター  
エイズ治療・研究開発センター（ACC）]**

[システム概要]

エイズ治療・研究開発センター（ACC）は、薬害エイズ訴訟の和解をふまえ、被害救済の一環として1997年4月1日、国立国際医療センター病院（当時）に開設された。当eラーニングプログラム「HIV感染症と血管障害／HIV感染症と血管障害「ケア」／HIV感染症と血管障害「代謝異常と薬剤」」は、厚生労働省エイズ対策研究事業の一環としてACCが提供するeラーニングプログラムである。インターネットおよびCD-ROMによるeラーニングで、研修会を補完する教育研修手段として利用が可能である。当コンテンツは、ACCが2009年度に首都圏拠点病院を対象として行った研修会において使用された教材資料をeラーニング用に再構成したものである。CD-ROMはインターネットに接続していない状態でもすべての学習ページを閲覧できる。また、ホームページで公開されているボタン等の操作方法を確認しながら学習を開始できるようになっている。

当eラーニングは全3章で構成されており、学習ページはすべてナレーション音声を聞きながら画面上で重要ポイントを確認できる形式となっている。学習時間（ナレーション収録時間）は、約63分である。

受講料は無料で、CD-ROM版もインターネット版も無料で閲覧が可能である。IDやパスワード、個人情報等を記入する必要もなく使用できる。

# システム名：[明日の医療の質向上をリードする 医師養成プログラム（あすいし ASUIISHI）] 提供機関名：[ASUIISHI 名古屋大学医学部＋TOYOTA]

## [システム概要]

名古屋大学は文部科学省の補助事業に採択され、『明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム（ASUIISHI）』を立ち上げた。本事業は中堅以上の医師を対象として、「患者安全」と「質管理」を習得させることを狙いとしている。育成した医師が各々の医療現場に戻った後にも着目し、継続してフォローできる体制づくりも行っている。

ASUIISHI プロジェクトは、「医師養成事業」と「人材ハブセンター事業」の2つの事業から成っている。医師養成事業では、これからの医療機関の基盤部門を率いる人材に求められる能力を実践できる医師を育成する約140時間のカリキュラムを提供している。当院の基盤部門の業務ノウハウを世界の感染制御・安全管理の動向とともに伝えることと、特にメインコースではトヨタ自動車が確立してきた、プロセスで品質を作り込む手法を医療の安全性を高めるために実践するやり方を伝えることが目的である。

人材ハブセンター事業では、医師養成事業カリキュラム修了者を支え続ける事業を展開している。病院組織のために目標を定め、どのように問題を解決していくか、知識や手法のアップデートも含め継続して支援し続けるしくみが人材ハブセンターである。データ共有も行い、ベンチマークすることでさらに各組織の改善を促進している。

明日の医療の質向上をリードする医師養成事業は管理職医師としての専門教育プログラムであり、名古屋大学医学部の医療基盤部門とトヨタグループの品質管理部門が連携して患者安全・感染制御と医療の質管理を専門とする管理職医師を養成する事業である。文部科学省の補助金事業として運営しているため、当面の間受講料は無料（テキスト代、旅費等は受講者負担）である。医師養成事業には「メインコース」と「インテンシブコース」の2つのコースが用意されている。

メインコースは、活動のリーダーとなり組織に働きかける実践力を習得することを目標とする。患者安全や感染制御・医療の質について、世界標準となっている内容を身につけるとともに、問題解決の知識や技術に関しては、トヨタ自動車等製造業で確立された問題解決の標準手法に基づき、実際の課題を用いてテーマ学習するカリキュラムとなっている。コース修了時にはテーマ学習の発表を行う。カリキュラム総履修時間は120～140時間である。

インテンシブコースは、患者安全もしくは感染制御に重点をおいたカリキュラムを提供する。患者安全インテンシブコースでは、患者安全に関する基礎知識を身につけ、有害事象発生時の組織対応を習得する。感染制御インテンシブコースでは、ICD取得者を対象に理論と実践をバランスよく習得し、組織内で継続的に感染制御活動をリードできることを目指す。なお、トヨタグループと連携した質管理の問題解決テーマ学習はメインコース受講者のみが対象となっている。患者安全・感染制御インテンシブコースともにカリキュラム総履修時間は40～50時間である。原則として、インテンシブコースを受けながら興味のあるメインコースの履修科目を受講することはできない。

学習システムはクラウド（ASP型）で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。メインコースは半年間で修了する計画である。開講日から1週間の参加型研修の受講と、それ以降の5ヶ月間は1ヶ月に1回連続した2日間の研修に月1回参加することが必要となる。その他、選択科目としてOJTや参加型研修を選んだ場合、そ

の日程も確保する必要がある。患者安全インテンシブコースは開講日から 1 週間の参加型研修の受講と、そのあと 2 回の受講が、感染制御インテンシブコースは開講日から 1 週間の参加型研修の受講と、そのあと平均月 1 回の受講が必要である。これらの研修はほとんどが日中に、名古屋大学（JR 鶴舞駅付近）もしくは中部品質管理協会（名古屋駅付近）で開講されるため、業務を調整して参加する必要がある。それ以外の講義は勤務先や自宅からのネット上のビデオ学習である e-learning で履修できる。感染制御インテンシブコースは、担当職員が所属病院を訪ね、受講者が受講中に取り組んだ課題について発表する科目がある。

受講資格は医師・歯科医師であること、募集人数はメインコースで 20 名程度、患者安全インテンシブコースで 5 名程度、感染制御インテンシブコースで 3 名程度である。なお、医療機関からの推薦者が優先される。履歴書や受講承諾書、推薦状や志望動機と終了後の展望など出願書類を書留郵便として提出する必要がある。

# システム名：[CANCER e-LEARNING がん医療専門チームスタッフ のための e ラーニングプログラム]

提供機関名：[一般社団法人 日本癌治療学会]

## [システム概要]

日本癌治療学会はがん医療を専門とする医師・チームスタッフを目指す人、学び続ける専門医の人に向けて、「CANCER e-LEARNING がん医療専門チームスタッフのための e ラーニングプログラム」を提供している。Web サイトは日本のがん医療均てん化のために非営利・教育目的で運営されている。コンテンツは専門医育成を目的にがん医療にたずさわる医師向けのものだが、利用者登録を行えば誰でも受講することができる。利用にあたっては、利用者登録時に設定した利用者 ID とパスワードが必要となる。受講料は無料である。

学習システムはクラウド（ASP 型）で提供されており、パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。利用登録は Web 上で行き、登録フォームに必要事項を記入し登録完了メールを受け取ると同時に受講準備が整う。

当 e ラーニングの講義は、それぞれの分野で日本の医学界を牽引している、日本癌学会、日本癌治療学会、日本緩和医療学会、日本サイコオンコロジー学会、日本病理学会、日本放射線腫瘍学会、国立がん研究センター、日本がん治療認定医機構の 8 団体が監修している。「臨床腫瘍と生物統計学」、「生命倫理と法的規則」、「基礎腫瘍学」、「臨床腫瘍学概論」、「緩和医療学」、「精神腫瘍学」、「医療ケアとチーム医療、腫瘍社会学、患者教育」という 7 分野、合計 62 科目を学ぶことができる。

学習コンテンツはパワーポイントのスライドと講師の講義動画で構成されており、視聴記録はスライド単位で記録され、目に見える形で学習の進捗を把握できる。講義は 1 つのチャプターにつき 15 分から 20 分の長さである。また、講義後には簡単な理解度テストが準備されており、きちんと学習できたかどうかをチェックすることができる。さらに、ホームページのお問い合わせより、講師に講座内容について質問することも可能である。

**システム名 : [e-ラーニング研修 医療安全 Web 研修]**  
**提供機関名 : [一般社団法人 日本循環器学会]**

[システム概要]

日本循環器学会は、日本循環器学会会員限定の研修システムとして e ラーニング研修を提供している。2017 年 4 月以降、新たに 23 コンテンツが加わり全 177 タイトルとなった。

学習システムはクラウド(ASP 型)で提供されている。1 コンテンツあたりの収録時間は 15～20 分程となっており、短時間で受講できる。また、日本循環器学会のガイドラインを引用しているため、受講することでガイドラインも学べるツールとなっている。視聴後の設問に正解すると「循環器専門医」資格の研修単位が 1 コンテンツにつき 1 単位付与される。専門医単位は認定期間 5 年間で最大 15 単位まで単位付与とされ、同じタイトルを複数回視聴しても単位は加算されない。単位は視聴と設問正解をもって付与される。

入会には、ホームページの「入会申込フォーム」上に直接必要事項を入力・送信し、送られてくる確認メールにある URL をクリックすることで入会申請が完了する。入会申請完了後、会費の振替用紙にて振り込み、入会手続き完了となる。なお、複数人が入会する場合でも、入会申し込みフォームへの入力是一人ずつ行う必要がある。入会金は正会員と準会員ともに 2,000 円だが、年会費は正会員が 15,000 円、準会員が 8,000 円である。



# システム名：[JCS-ITC コース BLS ヘルスケアプロバイダ e-learning]

## 提供機関名：[一般社団法人 日本循環器学会]

### [システム概要]

日本循環器学会循環器救急医療委員会では、「心停止を予防し、蘇生率を改善させ、その後遺障害を軽減する」という JCS-ITC の使命（ミッション）を達成するために循環器救急医療に関わるサイエンス（研究）・トレーニング（教育）・プラクティス（臨床）の連携が重要と捉えている。なかでもトレーニングに関しては、アメリカ心臓協会（American Heart Association, AHA）と提携し、その国際トレーニングセンター（International Training Center, ITC）として日本各地で心肺蘇生法講習を展開している。

JCS-ITC では、蘇生法を学習したい人の目的やレベルによって様々なコースを用意している。「BLS ヘルスケアプロバイダー e-learning によるコース更新コース」は成人および小児・乳児の心肺停止に対する初期対応を身につけるための e-learning コースである。対象者は「原則として医療に従事している方、医学教育に係っている方、医歯薬学生、看護学生など」であるが、英語がある程度理解できないと Web 学習を終了できない懸念がある。

受講は、AHA の web 学習ページ（OnlineAHA.org）で画面を見ながら BLS の内容を学習する。所要時間はおよそ 2 時間である。時間を区切って複数回に分けて学習することも可能である。ただし現時点で教材は英語のみとなっている。学習内容は、成人の一人法・二人法 CPR・小児の一人法 CPR・AED の使用方法と二人法 CPR・乳児の一人法・二人法 CPR・成人・乳児の窒息である。なお、AHA の規定により e-learning の受講からスキルテスト受験までを 60 日以内に完了する必要がある。

Web 学習を済ませたあとは、実際に心肺蘇生に必要なスキルができるかどうか、マネキンを用いてスキルチェックを行う。これはコース会場に行く必要がある。通常の BLS ヘルスケアプロバイダーコースは一日コースだが、スキルチェックのみであれば拘束時間（およそ 1~2 時間）はかなり短くなる。コースの合格基準は 1『Heartcode BLS』を Web 受講すること、Web のオンラインテストに合格すること（84 点以上で合格）、スキルテストに合格することの 3 つである。

Web 学習の受講方法については次のとおりである。まず、AHA のホームページ（OnlineAHA.org）にサインインする。初めての場合は、登録が必要となる。Course Catalog で『Heartcode BLS』を選択し、手順に沿って支払い（\$ 25.0）を済ませる（クレジットカード・Paypal・銀行振込が選択可能）。次に、ホームページから直接該当コースを選択するか、キーコードを入力して『Heartcode BLS』を受講する。受講を終了すると『受講証明書（Certificate）』（PDF 書類）がダウンロードできるので、『受講証明書（Certificate）』を印刷して、スキルチェックに持参する準備をする。

スキルチェックは、BLS ヘルスケアプロバイダーコース会場で行われる。スキルチェックを希望するコースを検索・応募し、申し込みの際に受講コースで『スキルチェック』を選択する。募集期間締め切り後にメールで採否が通知される。コース会場では、スキルチェック前にマネキンを使った練習の時間を設けている。スキルチェックの開始時間になったら、成人および乳児のスキルチェックを受ける。スキルチェックに合格すれば、コース修了証（ヘルスケアプロバイダーカード）が発行される。スキルチェックに持参するものとして受講証明書（Certificate）・テキスト・フェイスマスクが必須となる。なお、テキストは 4,212 円である。

**システム名：[JUA academy]**

**提供機関名：[一般社団法人 日本泌尿器科学会]**

[システム概要]

日本泌尿器科学会は、会員に対する教育活動、会員による医学研究成果などの発表場の提供、市民への啓発活動を通して、泌尿器疾患の予防・診断・治療の向上を図り、公共の福祉に貢献することを目的とする一般社団法人である。積極的に勉強したい先生に向けて、「JUA academy」という新しい専門医制度にも対応した学会員向けの総合的な教育関連サイトを運営している。単位取得可能な e ラーニング、卒後教育プログラムハンドアウトの配布、最新のガイドラインの取得等の様々なコンテンツが用意されている。サイト利用料は年間 1 万円で、JUA academy の利用者は、従来 1 講座 2000 円かかっていた卒後教育プログラムの受講料が受講回数に関係なくサイト利用料のみで何回でも受講できる。

学習システムはクラウド（ASP 型）で提供されており、パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。提供される学習コンテンツは動画視聴と設問回答型のテストで、テストには解説もついている。受講に際して、スリープ時間の解除やスリープになる条件（PC を閉じた時等）の設定を解除しておく必要があり、上記設定を行わない場合には動画が止まってしまう。また、受講中にブラウザの「戻る」ボタンを押したり、ブラウザを閉じたり、動画を連続して 6 時間以上視聴したりすると、再度初めからの視聴となる。

入会について、正会員の手続きはオンラインより受け付けている。オンラインで登録できない場合および賛助会員での入会希望の場合は、学会事務局までメールまたは FAX での連絡となる。正会員、賛助会員ともに年会費は 16,000 円である。なお、年間 1 万円の受講料を払わなかった場合、卒後教育プログラム 1 コースの受講料が 5000 円かかる。また、現行の専門医制度、あるいは新しい機構専門医制度の申請に必要な単位取得の管理、申請書類のダウンロードができなくなり、すべて自身で管理することになる。

**システム名：[日本輸血・細胞治療学会 eラーニング]**  
**提供機関名：[一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会]**

[システム概要]

日本輸血・細胞治療学会、輸血医学教育委員会は、輸血医学を学ぶ人たちが学会ホームページ（Web）上で輸血医学に関連する様々な問題を自由に自己学習（E-learning）できるシステムを構築した。なお問題作成は、「輸血医学教育標準カリキュラム」から最低限必修カリキュラムに限定した内容を全国大学病院輸血部会議担当者に割り当て協力してもらっている。輸血問題は基礎編『BASIC』159問と臨床応用編『CLINICAL』147問の2部構成となっている。学習システムはクラウド（ASP型）で提供されており、PCサイトのみに対応している。利用にはユーザー情報（職種）の入力が必要だが、誰でも無料で利用できる仕組みとなっている。なお、Web上にeラーニングの使い方を示したページが掲載されている。

提供される学習コンテンツは設問回答型で、2回まで再回答可能である。なお、テストの結果は保持されない。学習者が問題を解き解説を確認することにより、各臨床シナリオでの輸血のあり方を学習することが出来る構成とされている。

**システム名：[医療安全講習会 Eーラーニング]**

**提供機関名：[一般社団法人 日本脳神経外科学会]**

[システム概要]

日本脳神経外科学会は、学術総会、コンgres、各支部会学術集会で開催される安全講習会に参加することのできない会員のためにネット上でのEーラーニングを開始した。会員専用ページに接続して、ビデオを聴講後、質問に全問正解することにより聴講したと認められる。学習システムは、クラウド（ASP型）で提供されており、パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。

受講には会員登録が必須となる。入会までの手順は次のとおりである。ホームページより入会届をダウンロードして全ての欄を記入し、記入した入会届（原本）を事務局へ送る。次に、入会金及び初年度会費を郵便局の口座またはゆうちょ銀行へ振り込む。振込額は、正会員は 19,000 円、賛助会員は 18,000 円、研修医会員は 8,000 円である（入会金 3,000 円、初年度会費を含む）。会費は 1 月 1 日～12 月 31 日である。入会届（原本）の到着と入金を確認後、会員登録手続きを行い、手続き完了後、指定の送付先へ「入会完了通知」が郵送される。通知が到着したら会員専用ページへログインを行い、研修記録帳（excel ファイル）のダウンロードと COI 自己申告を速やかに完了させる。

## システム名：[抗菌薬適正使用生涯教育セミナー eラーニング]

提供機関名：[公益社団法人 日本化学療法学会]

### [システム概要]

日本化学療法学会では抗菌薬適正使用推進のための啓発活動，また抗菌化学療法認定医・指導医および抗菌化学療法認定薬剤師の教育プログラムの 1 つとして毎年夏に抗菌薬適正使用生涯教育セミナー（1 日コース）を開催している。このセミナーは，参加できない方のためにその後，東京，札幌，神戸，奈良，福岡の 5 か所で，当日の内容を収録した映像の上映をビデオセミナーとして開催してきた。しかし，現在ではこのようなビデオセミナーの形式ではなくインターネットの普及を背景とした e-learning を多くの学会が取り入れ，その利便性が高く評価されてきていることを踏まえ，当学会でも従来おこなってきたビデオセミナーを 2016 年から廃止し，e-learning による教育システムを開始することとなった。実臨床に役立つ problem-oriented な内容が充実している。

学習システムはクラウド（ASP 型）で提供されており，パソコンより学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。学習コンテンツは，セミナーの映像を収録したもので，実臨床に役立つ problem-oriented な教育企画が提供されている。

また，平成 29 年度より，学会と併設しない 1 日セミナーおよび抗菌薬適正使用生涯教育セミナーの e-learning の受講に限り有料化することとなった。抗菌薬適正使用生涯教育セミナーの e-learning 受講（20 単位）は，個人会員 4,000 円，非会員・団体会員・賛助会員 10,000 円である。入会にはオンライン入会申込を利用するか，入会申込書をダウンロードし，必要事項を記入の上，当学会へ郵送または FAX での手続きとなる。年会費は個人会員・団体会員共に 9,000 円で，賛助会員は一口 200,000 円以上である。

## システム名 : [e-Learning]

### 提供機関名 : [公益社団法人 日本放射線技術学会]

#### [システム概要]

日本放射線技術学会は、一貫性・継続性を重点においた実践基礎と高度専門教育を行い、臨床実践研究および学術実践研究を行える人材育成を目的として教育プログラムを作成した。このプログラムは平成 22 年から施行されたが、医療機器などの急速な進歩などに呼応して、若干のシラバス内容の追加し、平成 25 年に Ver. 2.0 として改訂が行われた。この教育プログラムは、専門教育カリキュラム（専門講座）と卒後間もない会員に基礎的な知識を身につけるための基礎教育カリキュラム（入門講座）の 2 つから構成されており、日本放射線技術学会の学術的な要素を担保し、新しい技術・理論などにも柔軟に対応出来る人材を育み育てるプログラムである。この教育プログラムに沿って春季学術総会および秋季学術大会において専門性を高める「専門講座」と実践基礎を身につける「入門講座」を開催し、長期に渡る一貫性・継続性のある実践・専門教育を行う。これらの講座はインターネットを通じて JSRT の会員サイトから学ぶことが可能なシステムとなっているため、学会に参加出来なかった会員などの幅広い教育ツールとして広く利用されている。また、講演資料（Hand-Out）も Web 上に公開され、講演の前の資料として手助けになっている。

プログラムの内容は「入門講座」及び「専門講座」からなり、それぞれの分野・領域のカリキュラムから構成されている。最初に各分野・領域に関する重要項目を列挙したコースカタログと、そのコースカタログに沿った講演内容を記載したシラバスを示す。各講座に共通する分野・領域は、画像工学分野・計測学分野・放射線防護分野・医療情報分野・医療安全分野・撮影分野（一般撮影領域・血管造影領域・超音波領域・CT 領域・MR 領域）・放射線治療分野および核医学分野の 8 分野 5 領域から構成されている。

各講座の目的として、「入門講座」は新人などに対して実践的基礎教育を行う。「専門講座」は専門実践能力をより向上させるために、専門支持科目（専門関連科目）の充実を図り、その専門支持科目の知識の向上を図ることで専門性を揺るぎない高度専門実践教育を目指す。専門支持分野としては、画像工学分野・放射線防護分野・放射線計測分野・医療情報分野などがあり、専門分野・領域としては撮影分野（各領域）・放射線治療分野および核医学分野から構成されている。

当学会の教育委員会では、会員専用ページ『RacNe』にて e-Learning システムを提供している。公開コンテンツは「総会学術大会・秋季学術大会 大会講義一覧」、「大会講演動画」、「動画セミナー」の三つである。「総会学術大会・秋季学術大会 大会講義一覧」では、学術大会で開催された入門講座・専門講座の講演内容のスライドおよび一部音声を閲覧できる。入門講座・専門講座は、学会の作成した教育プログラムに準じた講演内容になっている。「大会講演動画」では、学術大会で開催された招待講演・シンポジウム・セミナーなどの講演映像を閲覧できる。なお、「総会学術大会・秋季学術大会 大会講義一覧」と「大会講演動画」の掲載内容はホームページから確認可能である。また、「動画セミナー」では C 言語画像処理プログラミング講座・英語プレゼンテーション講座・論文書き方講座を受講できる。講座は step ごとに分かれており、1step は約 5 分である。こちらも受講手順をホームページで確認できる。

学習システムは、クラウド（ASP 型）で提供されており、パソコンやスマートフォンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。会員であれば受講料は無料となり、入会にかかる費用は正会員が年会費 13,000 円＋支部費である。支部費は登録必須・複数支部登録可能で、1 支部につき 2,000 円である。学生会員は年会費 3,000 円で、原則として在学地所在地の 1 支部のみ登録する必要がある（無料）。賛助会員は年会費 26,000 円×口数＋支部費（登録支部数分）で、支部費は正会員と同じとなる。

**システム名：[MDIC 認定セミナー]**

**提供機関名：[一般社団法人 日本医療機器学会]**

[システム概要]

一般社団法人日本医療機器学会は、産学連携による医療技術、機器の改良開発並びに医療安全の発展に寄与することにより、医学・医療の質の向上を目指し、人類の健康と福祉に貢献することを目的として活動している。当学会の主催する医療機器情報コミュニケーター（MDIC：Medical Device Information Communicator）は医療スタッフ・製造販売業者等に役立つ内容のもので、平成 29 年度より eラーニングシステムを用いることとなった。

MDIC 認定制度は、医療機器の品質向上、安全性の確保並びに適正使用の普及を目指し、ヒヤリ・ハット情報や不具合情報等を含む情報の収集・提供や医療機器全般の適正な使用および保守管理に必要な知識・技術などの情報を医療安全管理者・医療機器安全管理責任者や医療機器の利用者（医師・看護師・臨床工学技士ほか）等と製造・販売・賃貸業者、修理業者を含む医療機器の製造販売業者等との間で共有し、患者の安全と医療の質向上に貢献できる担当者となる医療機器情報コミュニケーター（MDIC/エム・ディー・アイ・シー）を学会で認定し、育成することを目指すものである。MDIC 認定セミナーを受講し、検定試験に合格したうえで認定の申請があった者を MDIC として認定する。

MDIC 認定セミナーは、eラーニングシステムを用いて「医療概論」、「臨床医学」、「臨床工学」、「医療情報」の 4 科目を受講する。MDIC 検定試験の受験対象は医療機関での医療機器利用者（医師・看護部・臨床工学技士など）、教育・研究機関や製造販売業者での医療機器の開発・製造・販売・保守・使用・評価のいずれかに関わっている者などで、実務経験の有無については問わない。なお、受験する年度の MDIC 認定セミナーを全科目・全単元受講することは受験の必須条件とされ、医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士などの医療職種や企業の総括製造販売業管理者等の有資格者であっても日々進歩する広く新しい知識や法改正を習得することを重要と考え、免除制度はない。検定試験は「医療概論」、「臨床医学」、「臨床工学」、「医療情報」の各科目からなり、全科目に合格することで MDIC 検定試験に合格したことが受験者本人に通知される。なお、不合格の科目があった場合には、次年度を限度に不合格の科目のみを再受験することができる。MDIC 認定証は、検定試験合格者に MDIC 認定申請にもとづいて日本医療機器学会が交付する。MDIC の有効認定期間は初回認定日から 5 年 6 ヶ月間である。期間内に最新の医療機器の知識習得するため、日本医療機器学会や後援団体が開催する学術大会・講習会などに参加・発表をおこなうことで規定ポイントを付与し、更新ポイントに達した者は有効認定期間が 5 年間延長される。

学習システムは、クラウド（ASP 型）で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。提供される学習コンテンツは、動画・音声配信による講義である。1 科目 10～15 分の単元が 18～25 コマあり、4 科目で 1,440 分（24 時間）の教材が提供されている。

申込みは、ホームページより受講申込書をダウンロードし、所定事項を記入後、期日までに受講料納入の振込票の控え（コピー可）を添付の上、FAX ないし郵送する。申込み後、受講申込書に記入したアドレスへ、配信ページの URL と期間限定のログイン ID とパスワードが送られる。受講料は 1 人 20,000 円（税込）で、4 科目のテキスト代を含む。eラーニングは期間内、何度でも受講できる。

**システム名：[学会員専用の e-ラーニングサービス]**  
**提供機関名：[一般社団法人 日本在宅薬学会]**

[システム概要]

日本在宅薬学会は、学会員専用サービスとして、学びをサポートする「e-ラーニング」を提供しており、会員は、医学・薬学界の著名な先生たちの講義を全て無料で視聴することができる。取り扱う内容は在宅療養支援認定薬剤師取得に必要なものばかりのため、どんな薬剤師でも生涯学習の一環としてスキルアップを目指す。さらに、在宅療養支援認定薬剤師認定のための単位も発行される。

学習システムはクラウド（ASP 型）で提供されており、パソコンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。また、最短で申し込みの翌月から受講を開始することができ、Web 上にログインの方法を示した動画が配信されているため、比較的、容易に受講を開始することができる。

提供される学習コンテンツは、講義を収録した映像教材が中心となっている。講義は 40 分前後で、一度に見られなくても、受講状況が記録されるため、いつでも続きから学習が可能である。視聴期限も設けられておらず、何度でも視聴ができる。

入会金は無料で、年会費は正会員 10,000 円、学生会員 1,000 円。会員契約期間は入金した日から 12 ヶ月である。



**システム名：[生涯教育 e ラーニング講座]**  
**提供機関名：[京都薬科大学 生涯教育センター]**

[システム概要]

京都薬科大学生涯教育センターは、1976年に薬剤師卒後教育の先駆けとして、薬学専門知識と科学的データに基づく高度な職能を発揮するための生涯研鑽の機会を提供している。当学は、生涯教育プログラムとして卒後教育講座やフィジカルアセスメント講座、漢方講座など多くのプログラムを提供しており、eラーニングもその中の一つである。eラーニングでは、当学で開催した「卒後教育講座（2014年～2018年分）」を、演者の承諾のもと、著作権・プライバシー等に配慮して編集したものをインターネット配信している。学習システムは、クラウド（ASP型）で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。

提供されるコンテンツは、講座を収録した映像教材が主になっており、受講後に確認テストを受けることができる。ただし、過去に同一演題を卒後教育講座またはeラーニング講座で受講し既に研修単位を取得している場合には、確認テストが出ない仕様になっている。講座は100分前後の1コマ1単位で、取得可能単位は30単位である。確認テストは1コマ毎に3問出題され、1テスト（3問）毎に正答率60%以上で1単位が配付される。また、eラーニング講座を受講し、確認テストに合格して認定された研修単位は、1か月毎に（前月1日～月末）まとめて翌月初旬に登録先住所に送付され、受講証明書発行手続きは不要である。

受講料は15,000円で、Webからの申込みとなっている。

**システム名：[感染症予防対策ビデオ]**

**提供機関名：[北海道情報大学 eラーニング推進センター]**

[システム概要]

北海道情報大学では、教育の質の向上のため「教育のイノベーション」を実践しており、そのインフラとしての ICT 基盤構築の推進母体が eラーニング推進センター (CED) の役割である。CED のミッションは、北海道情報大学の教育研究施設として、教育・学習分野における ICT 利活用に関する研究、開発及び普及推進を図り、教育研究の進展に資することである。教育のイノベーションのコアとなる基盤システムの開発、eラーニングシステムの企画・研究・開発及び普及促進、ICT 活用及び教材開発の利用者支援、学生参加による eラーニングシステム等の開発環境の提供などを行っている。

CED では多様なコンテンツ・システムを開発しており、eラーニングの一つとして「感染症予防対策ビデオ」を提供している。これは、CG や再現映像を駆使した感染症対策啓発ビデオであり、パソコンやタブレットから視聴できる。感染のメカニズムや手洗い等の対策方法を解説しており、演劇の経験を持つ北海道情報大学の学生が出演し、学生が身近な危険として理解しやすい映像に仕上がっている。

**システム名：[佐賀大学医学部 e ラーニング 2017 年度版]**  
**提供機関名：[佐賀大学医学部看護学教育研究支援センター]**

[システム概要]

佐賀大学医学部看護学教育研究支援センターは、佐賀県の看護職キャリア形成システムの一環として、県民に安全で質の高い看護が提供できるよう看護職者の自己学習を支援する e-learning 教材を提供している。教材はインターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、iPad 等で視聴することができる。教材の視聴は、佐賀大学医学部看護学教育研究支援センターに利用申請をした登録者に限り、申請を希望する者は Web から申し込むことができる。ログインには ID およびパスワードが必要となる。

提供される学習コンテンツは、およそ 15 分間の映像と確認テストから構成されている。テストの解答確認時には解説が表示されるため、参考にしながら学習を進めることができる。コース内容には脳神経系の異変への対応、心肺停止状態への対応、感染対策、フィジカルアセスメントがある。

**システム名：[阪大病院 e ラーニングシステム]**

**提供機関名：[大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部]**

[システム概要]

大阪大学医学部附属病院は、2004年に市販の e ラーニングシステムを導入した。その後、教材登録の仕組みやユーザーデータ管理等の課題を改良するため、文部科学省特別経費により独自の e ラーニングシステム開発に取り組み、2010年9月16日に運用を開始した。その成果として、阪大病院 e ラーニングシステムは、第8回日本 e-Learning 大賞（Japan e-Learning Award 2011）において、厚生労働大臣賞を受賞している。審査委員会からは、「大学病院における診療と学習（自己向上・啓発）を両立させる優れた e-Learning の開発・実践である。病院における職員教育の難しさを、1.アクセシビリティ、2.ユーザビリティ、3.クオリティ・オリジナリティといった視点から克服し、バランス良く実践されている。e-Learning のコンセプトを柔軟に捉え、技術的、教育的、運用的に優れた実践がなされている。また、病院と大学医学部との合理的なシステム連携にも創意工夫を凝らし、今後、この分野の発展に寄与することが多いに期待される。医療分野での開発・実践の事例として高く評価する」という講評を得ている。

提供される学習コンテンツは、音声付きのスライドやアンケートなどである。

**システム名：[2017年（平成29年）度医療安全に関する研修予定]**  
**提供機関名：[旭川医科大学病院]**

[システム概要]

旭川医科大学病院医療安全管理部は、2002年8月の開設時より、医療事故を起こさない、あるいは発生しにくいシステムを院内に構築することを第一の目標に掲げて活動をしてきた。活動は、小さなミスの報告の積み重ねから始め、最終的には大きな医療事故を起こさないようなシステムを構築することを目的としている。こうして、院内の医療環境の整備を行うことによって、安全文化の創成と定着を図るよう心がけている。

「2017年（平成29年）度医療安全に関する研修」は、2017年4月から2018年2月まで行われ、17の研修に分かれている。研修により対象者や時間、方法は変わり、内容はホームページから確認することができる。方法には講義型、講習会、グループワーク、実践指導やミニテストなどがある。

**システム名：[感染専門医療従事者養成プログラム]**

**提供機関名：[徳島大学病院 感染制御部]**

[システム概要]

徳島大学病院間感染制御部は、徳島県全体の感染症診療・感染対策の質を向上させることを目的として、平成 27 年 11 月より地域の医療機関と密な連携協力を行い、「感染専門医療従事者養成プログラム」を学外に広く展開し研修（講義・実習）の提供や情報公開を行っている。医師・看護師・薬剤師・検査技師・介護福祉士など多職種の医療従事者が、短期間に集中して感染症や感染対策を系統的に学ぶことのできる研修プログラムとなっている。講義においては、遠隔地の方でも受講できる e-learning システムも導入している。

e-learning は徳島大学病院感染制御部の Web よりアクセスできる。プログラム申し込み後、ID とパスワード、受講証明書が発行される。コース受講前の予習およびコース終了後の復習として活用でき、「感染専門医療従事者養成プログラム認定コース」の受講単位としても認められる。学習システムはオンデマンドで、ID を付与された人がいつでもどこでもアクセスし、コンテンツを利用することができる。e-learning では、講義以外にも、院内で許可を得た感染対策マニュアルや、感染症・感染対策の教材資料を随時アップデートしている。なお、e-learning のみの受講では、感染専門医療従事者養成プログラム認定コースの履修証明書は交付されない。

感染専門医療従事者養成プログラム認定コースへの参加受付は 3 ヶ月ごとで、職種関係なく申込みが可能である。また、受講期間に制限はなく、登録後 5 年間は講義・実習案内が配信される。

**システム名：[医療安全・院内感染対策に関する講習会]**  
**提供機関名：[京都大学医学部附属病院 医療安全管理室]**

[システム概要]

京都大学医学部附属病院の医療安全管理室は、患者安全を目的として活動するチームである。医療安全・院内感染対策に関する講習会を開催しており、院内動画配信は KING ポータルサイトよりアクセスできる。視聴記録は ID・パスワードで残り、講習会参加のカウントにはアンケートの提出が必要となる。最新年度の講習会一覧と参加人数は京都大学医学部附属病院医療安全管理室のホームページより確認できる。すべての病院職員は、医療安全に関する講習会及び院内感染対策に関する講習会へそれぞれ年 2 回（合計 4 回）以上の参加が義務付けられており、積極的な参加を呼びかけている。

**システム名：[院内・院外看護職員対象 eラーニングシステム]**  
**提供機関名：[九州大学病院 看護キャリアセンター]**

[システム概要]

九州大学病院看護キャリアセンターは、専門職業人としての看護職のキャリア開発や生涯学習を支援し、地域全体の看護の質向上に貢献することを目的に活動している。大学病院と大学内他部門との組織横断的な連携・協力を深め、社会のニーズに合わせ、教育プログラムの開発や教育体制を整備している。看護学生から院内外の看護職員のために看護実践教育を行っており、eラーニングの提供もしている。学習内容は307コンテンツ（2016年8月時点）と充実しており、テキストだけでなくテストや動画など多くのタイプのeラーニングを当院職員が独自で開発しているのが特長である。現在、インタラクティブ教材の開発にも取り組んでいる。

学習システムは、クラウド（ASP型）で提供されており、パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれからも学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。また、アプリからのeラーニング教材の視聴も可能であり、アプリによる視聴方法を解説したpdfがホームページに掲載されている。eラーニングは院内看護職員用と院外看護職員用に分かれており、院外看護職員は利用登録をすることで当院のeラーニング教材の一部を視聴できる。



# システム名：[医療法人好縁会グループ eラーニングシステム]

## 提供機関名：[医療法人 好縁会グループ]

### [システム概要]

医療法人好縁会グループは、医療・看護・介護のスキルミックスによるトータルライフサポートを行う法人である。法人内において受講した研修内容を、事業所で活かせる知識・技術として、しっかり自分のものにしたい、また、受講したかったけどできなかった研修を勉強したい、という職員の自主学習応援システムとして、平成28年2月よりeラーニングシステムの試用運営を開始した。医療・福祉関係の教材が全てデジタル化されている。学習システムはクラウド（ASP型）で提供されており、パソコンやスマートフォンから学習コンテンツにアクセスすることができるようになっている。

提供される学習コンテンツは、パワーポイントや過去の研修の録画動画、テストなどである。テスト結果の集計は自動で管理者へ送付される。テスト未受講の人には最速メールが送られるようになっている。テスト終了後には高得点者の発表があり、テスト結果に応じてポイントが振り分けられ、プレゼントを受け取ることができる。また、職員全員に個別IDが振り分けられているので、学習状況の把握が可能となっている。さらに、各部署が職員に今知ってほしいことを周知できるので、伝達の漏れを防ぐこともできる。その他にも、職場環境のアンケートなど改善点を発見するのに活用できる。

**システム名 : [LMS : Internet Navigware]**

**提供機関名 : [医療法人 真鶴会 小倉第一病院]**

[システム概要]

医療法人真鶴会小倉第一病院では、2004年より職員教育にeラーニングを導入し、2005年の第2回日本e-Learning大賞「審査員特別優秀賞」を受賞している。eラーニングはプリセプター研修・集合研修の補完としてLMS (learning management system) を導入することで、学習管理システム(受講者管理、学習履歴、進捗管理、コンテンツ配信、教材割当など)が本格的に運用されている。また、2009年より新入職員全員にiPod touchを渡してモバイル・ラーニングを開始し、2011年からモバイルデバイスをiPad2に変更して教育を行っている。

新入職員や中途採用者の悩みの1つに、病院ごとのローカルルールへの対応がある。例えば、カルテの書式、検査や薬剤のオーダー方法、指示の出し方など、細かいところで異なる。当院のコンテンツは、入職5年目までの職員が作成する。理由として、入職5年目までの職員は、自分が経験した認識の違いをまだ覚えているからで、それをコンテンツ化する。作成されたコンテンツは、新入職員が、自分のモバイルデバイスに保存、必要に応じて利用している。新入職員や中途採用者は、事前の認識と現実のギャップの違いから起こるリアリティショックをこのコンテンツを利用し緩和していく。現在、看護基本技術・ME機器操作など、67のコンテンツをモバイルデバイスで受講することができる。日々更新されるコンテンツの継続的運用を実現させるには、現場におけるコンテンツ作成が必要となる。職員誰もが作成できるようIT教育内で学習コンテンツ作成の教育を行う。作成したコンテンツは、指導者や上司のアドバイスを受けコンテンツ化される。職種ごとに分かれ内容と動作を確認し、さらなるコンテンツの充実を図る。こうして作成したコンテンツは職員間で共有し、職員一人ひとりのスキルアップに役立っている。

また、ME機器の緊急時操作を迅速かつ確実に行うには、日ごろからの操作訓練が重要になる。当院では、モバイルデバイスを利用したシミュレーターを利用して、緊急時における対応を各自が身に付けていくことができる。ME機器シミュレーターの主な特徴は、(1)動画による操作解説、(2)操作ガイドに沿ったシミュレーショントレーニング、(3)受講者の理解度測定などである。ビジュアル化されたシミュレーショントレーニングは、実際の操作に沿った学習内容で、いつでも、どこでも好きな時間と場所で学習できる。業務に直結した教材は職員の興味と理解度を深め、不安軽減、緊急時操作に対する実践力と技術向上に役立つ。

**システム名 : [Medical e-Learning]**

**提供機関名 : [横浜市立大学附属市民総合医療センター]**

[システム概要]

横浜市立大学附属市民総合医療センターは、横浜市立大学医学部附属市民総合医療センターであった当時、病院長をプロジェクトリーダーとする Medical e-Learning 活用推進プロジェクトチームを設置し、Medical e-Learning システムを導入、院内の安全管理や情報周知に役立てるための実運用を全国の病院に先駆けて開始した。平成 20 年には第 5 回日本 e-Learning 大賞において厚生労働大臣賞を受賞した。Medical e-Learning は職員が利用できる電子学習システムのことで、医療、看護などの技術の習得だけでなく、理念の共有や情報伝達、職員教育、医療安全管理の充実に目的とした自己学習システムである。当院は、職種や部署により職員の勤務時間が異なり、病院全体の教育・研修を集合研修だけで行なうことが難しいため、教育・研修の機会を補完する手段として e-Learning を活用している。導入システムは NEC 社製 e-Learning システム Cultiva II である。これを既存のネットワーク(病院情報システム)に接続し、e-Learning の環境を構築した。

Cultiva II には受講者管理、問題、アンケート等の作成、保存、コース開催管理、履修状況把握といった様々な機能があり、コース開催中は指定された育成管理者が受講者個々の進捗状況をモニターすることができる。また、受講者の回答結果は CSV ファイルによる取り出しが可能である。動画やアニメーションを使った視覚的な教材作成、ネットワーク上での配信機能も持っているため、院内の情報周知だけでなく一般的な教育にも有効利用が可能である。